IRIS OHYAMA

家庭用

全自動電気洗濯機

型番 ITW-70A01

取 扱 説 明 書

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- **ご使用の前に「安全上の注意」を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は使用する方がいつでも見ることができるよう、大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

ご使用の前に

取り扱いかた

お 手 入 れ

こんなときは

アフターサービスと
そ の 他 の 内 容

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意 4
使用上の注意 6
各部の名称 7
正面 7
洗濯脱水槽 8
付属品 8
据え付け状態の確認 9
操作パネルの見かた 10
運転前の準備と確認
洗濯できないもの 12
洗濯物の確認 12
洗濯物の仕分け 13
洗濯物の入れかた 14
ふたロック／チャイルドロック
ふたロックについて 15
チャイルドロックについて 15
洗剤・柔軟剤・漂白剤について
洗剤・柔軟剤・漂白剤の目安量 16
漂白剤・洗剤・柔軟剤の入れかた 16

取り扱いかた

洗濯コースの詳細 17
使いかた
標準・すすぎ1回・つけおき・お急ぎ 18
毛布 20
おしゃれ着 22
コースの設定を変更して洗濯する 24
タイマー予約運転 26

お手入れ

糸くずフィルター 28
漂白剤注入口 28
洗剤投入ケース／本体外側 29
槽洗浄 30
槽乾燥 31

こんなときは

こまったときは・・・ 32
お知らせ表示が出たら・・・ 35

アフターサービスとその他の内容

仕様 36
長期使用製品について 37
保証とアフターサービス 38

よくある ご質問

洗剤・柔軟剤量の目安は？　⇒　16ページ
洗濯がうまくいかない　⇒　32ページ
洗濯機から異音がする…　⇒　34ページ
操作パネルに「E 1」などの
お知らせ表示が出たら　⇒　35ページ

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味

注意を促す記号です。　禁止を示す記号です。　必ず行うことを示す記号です。

警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う

- **電源プラグのほこりは定期的に取る**
  ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- **電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む**
  ショートによる火災・感電の原因になります。
- **電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う**
  火災の原因になります。

プラグを抜く
- **お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く**
  感電やけがの原因になります。

ぬれ手禁止
- **ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない**
  感電・やけど・けがの原因になります。

- **電源コードを束ねて通電しない**
  過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。
- **電源コードを傷付けない**
- **電源コードを引っ張らない**
  傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。
  電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- **洗濯機を電源プラグに押しつけない**
  据え付け時は、洗濯機で電源プラグを押しつけないように注意してください。
- **電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない**
  ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、アイリスコールへお問い合わせください。

据え付けについて

- **水まわり、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けない**
- **ベランダ・庭など風雨にさらされる場所に据え付けない**
  火災の原因になります。

アースを必ず接続
- **アースを必ず取り付ける**
  感電・やけど・けがの原因になります。
- **アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない**
  爆発・火災の原因になります。

接触禁止
- **回転中の洗濯・脱水槽に手などを入れない**
  ゆるい回転でも、洗濯物が巻きついて大けがの原因になります。回転が完全に止まるまでは洗濯物や洗濯・脱水槽に絶対に触れないでください。

- **ふたが破損したり、脱水中にふたを開けたときに洗濯・脱水槽が停止しないときは、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜く**
  事故の原因になります。お買い上げの販売店またはアイリスコールへ修理を依頼してください。

水ぬれ禁止
- **本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない**
  火災・感電の原因になります。

感電注意
- **雷が鳴りだしたら、洗濯機やコンセントに触れない**
  感電のおそれがあります。

● 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

● 子どもに洗濯・脱水槽の中をのぞかせない
● 近くに子どもが乗りやすい台などを置かない
● 子どもに使わせない
洗濯・脱水槽に落ちて、けがをしたりおぼれたりする原因になります。

● 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
〔異常の例〕
- 異常な音やにおいがする
- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中時々電源が切れる
- 触れるとピリピリ電気を感じる

➡使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

● 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

● 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。

● 40℃以上のお湯を使用しない
● 給湯器につながない
プラスチック部分が変形・破損し、感電や漏電、水もれの原因になります。

● 上に乗ったり、寄りかかったりしない
● 重いものを載せない
転倒事故などの原因になります。

● スプレーをかけない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）
● 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、可燃性のものを入れない
火災の原因になります。

● 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを入れたり近づけたりしない
火災の原因になります。

● 防水性のもの、水を通しにくいものは、洗濯・脱水しない
洗濯物の飛び出しや脱水時の異常振動により、けが・家財の損傷・洗濯物の損傷・水もれなどの原因になります。
部屋干しモードも使用しないでください。
防水性のもの・水を通しにくいもの
レインコート・サウナスーツ・ウェットスーツ・おむつカバー・寝袋・スキーウェア・自動車などのカバー・防水シートなど

● 衣類を入れすぎない
運転中に衣類が洗濯・脱水槽から飛び出して、衣類が損傷したり、洗濯機の部品の破損の原因になります。

● 洗濯機の下に手や足などを入れない
回転部などに触れるとけがの原因になります。かさ上げ台などを使用すると、床面とのすき間が大きくなるのでご注意ください。

据え付けについて

● キャスター付きの台など不安定な場所に据え付けない
● 高いところに据え付けない
脱水時の振動で、転倒・落下・移動し、けがや周囲の家財の破損の原因になります。

● 確実に排水できる場所に据え付ける
水もれにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因になります。

安全上の注意　つづき

● 給水ホースは確実に接続する
● 運転前は、水栓を開けて、給水ホースの接続部から水がもれていないことを確認する
ねじなどがゆるんでいないか確認してください。ホースが外れると、水もれや事故の原因になります。

● 運転後は水栓を閉じる
水もれの原因になります。

● 衣類の洗濯以外に使用しない
● 業務用など家庭用以外に使用しない
本製品は家庭用の衣類用洗濯機として設計されています。業務用や衣類以外に使用すると、故障の原因になります。

使用上の注意

●本体（特にふたや操作パネル）に洗剤や柔軟剤が付いたときは、すぐにしぼったタオルなどで拭き取ってください。
印字のはがれやプラスチック部分の傷み、金属部の腐食などの原因になります。特に濃縮液体洗剤がプラスチック部分に付くと、プラスチックが割れることがあります。

●洗剤は入れすぎないでください。
すすぎが不十分になったり、泡が飛んで周囲をぬらす原因になります。

●洗濯物を入れすぎないでください。
洗濯物の傷み、洗濯機の破損・故障の原因になります。

●使用後は万一の水もれを防止するために、水栓を閉めてください。

●ラジオやテレビの近くに据え付けしないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。

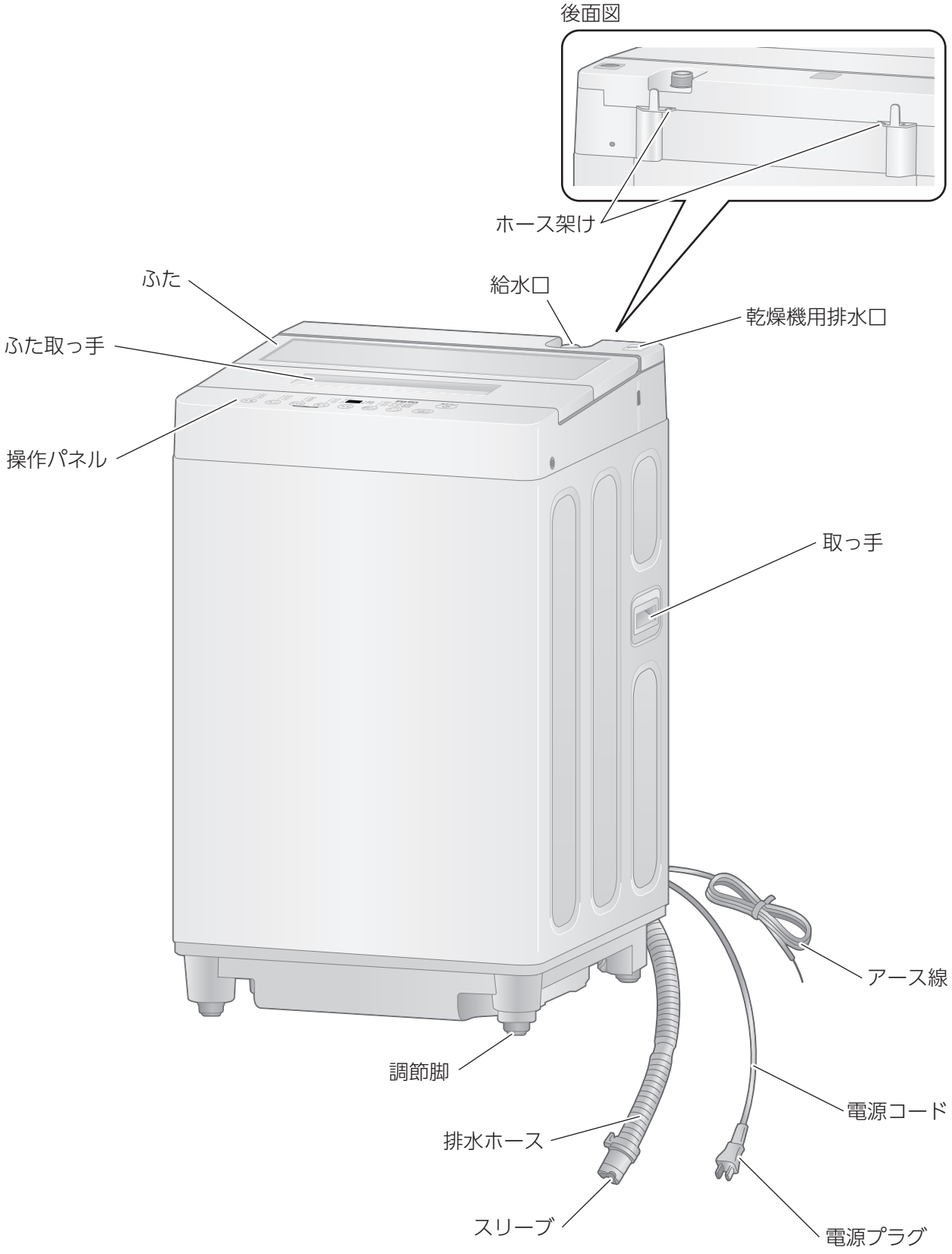
●スピーカーやIH調理器（電磁調理器）など磁気の出る機器の近くには据え付けしないでください。

●洗濯機の上に磁気を帯びたものを載せないでください。
正常に動作しないことがあります。

廃棄について
●製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

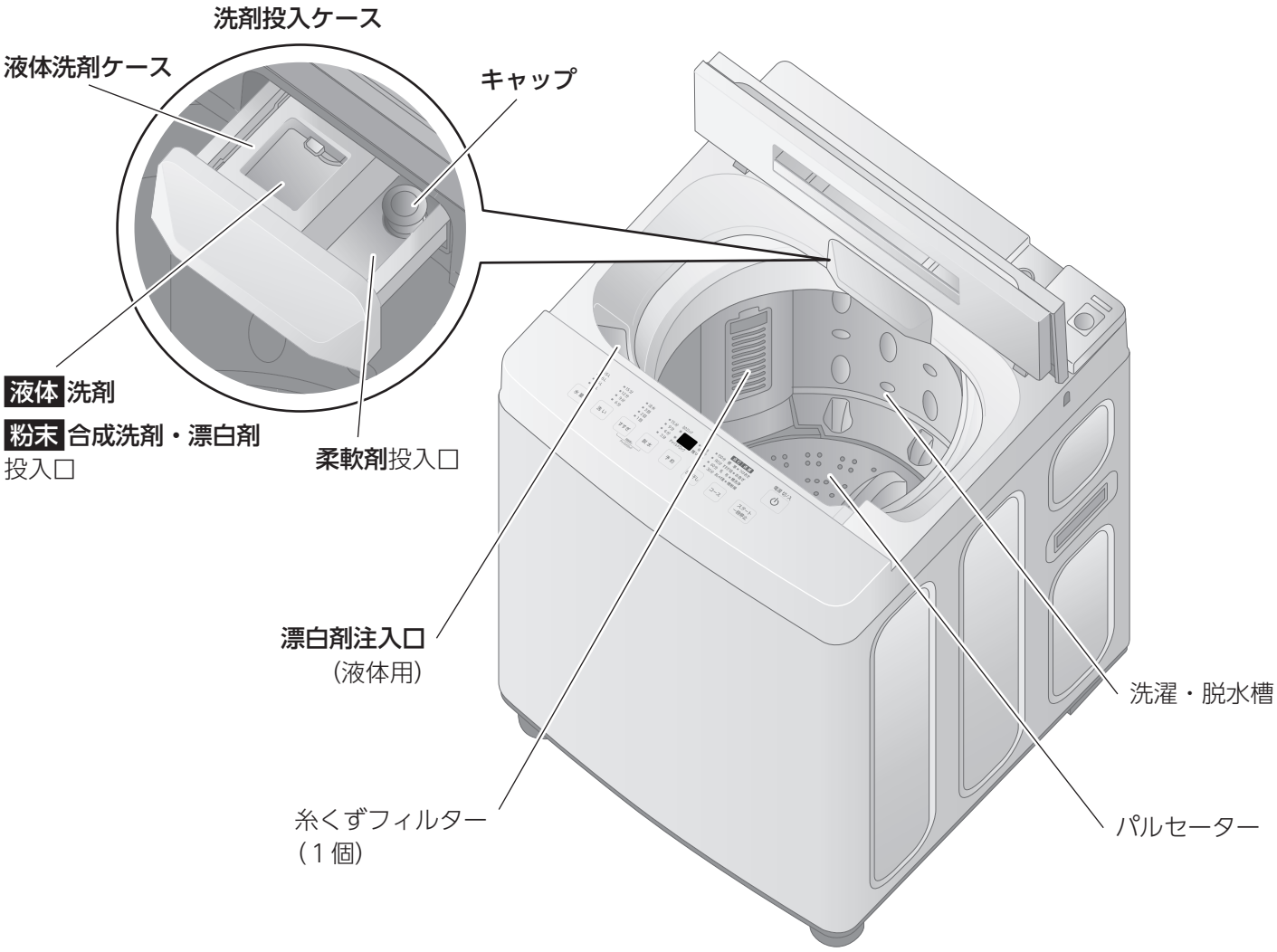
各部の名称

正面


後面図
ホース架け
ふた
給水口
乾燥機用排水口
ふた取っ手
操作パネル
取っ手
アース線
調節脚
電源コード
排水ホース
スリーブ
電源プラグ

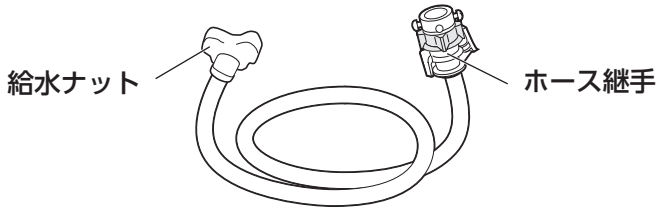
各部の名称　つづき

洗濯脱水槽

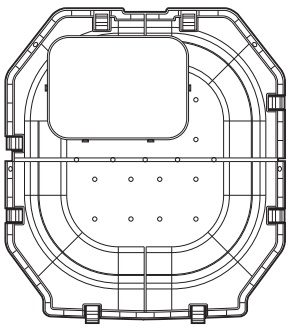


付属品

給水ホース（約0.8m）



保護カバー
（使用方法は据付説明書参照）



ねじ（4本）

据え付け状態の確認

初回使用時に　使用後定期的に

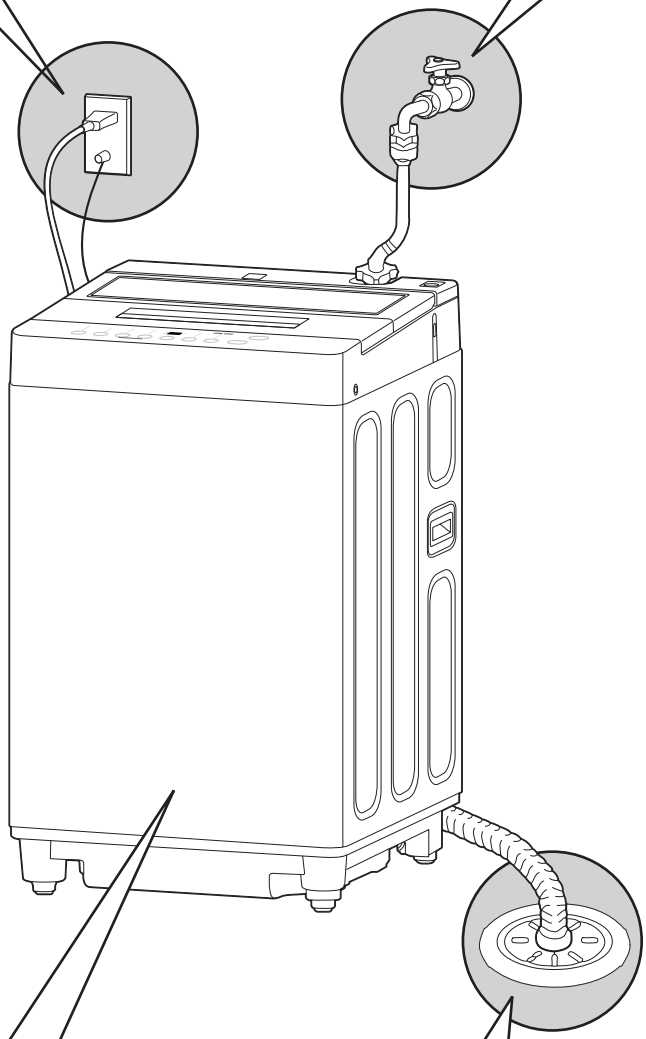
運転前最初に、据え付け状態を確認してください。(据え付けの詳細は据付説明書をご確認ください。)
万が一、据え付け状態に異常がある場合は、お買い上げの販売店もしくはアイリスコールまで
お問い合わせください。

給水ホース

- 水栓 (蛇口) の接続は、付属の給水ホースを使用して、正しく接続していますか？
- 本体の接続は、給水ナットを最後まで確実に締めてありますか？
- 接続部分にゆるみやがたつきはありませんか？
- 水栓 (蛇口) にさびは発生していませんか？
- 給水栓は、ストッパー付きの給水栓をおすすめします。

電源プラグ・アース線

- 電源プラグがコンセントの奥までしっかり差し込まれていますか？
- アースが接続されていますか？



本体

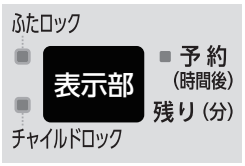
- 水平に設置されていますか？
- がたつきはありませんか？
- 排水ホースや給水ホース、水栓 (蛇口) を圧迫していませんか？

排水ホース

- 確実に排水口に取り付けられていますか？
- 排水が止まらないように高さが10cm以下になっていますか？
- 排水ホースが脚などの下にはさまっていませんか？

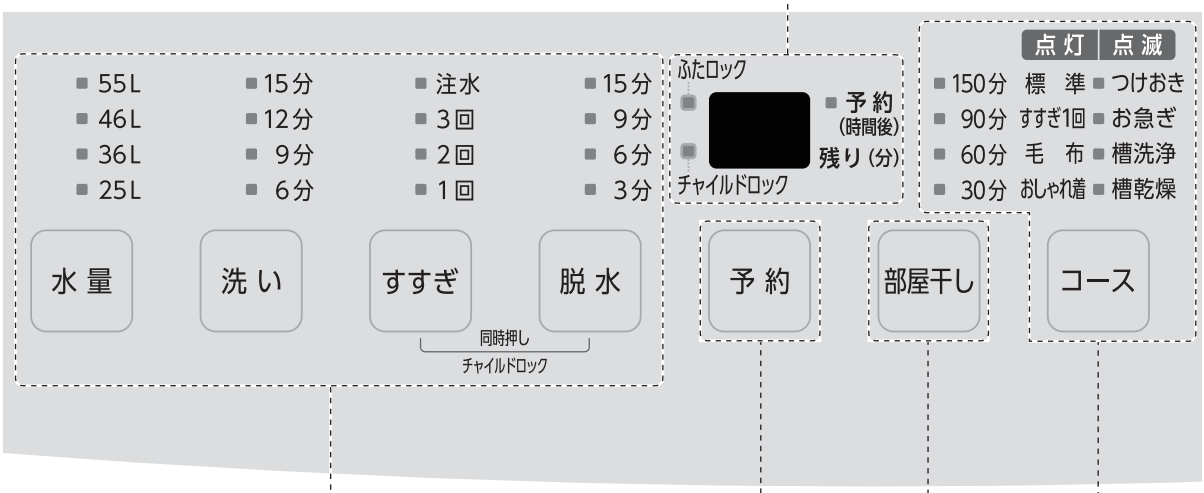
操作パネルの見かた

表示部、お知らせランプ



表示部
残り時間（目安）や予約時間、お知らせ表示などを表示します。

お知らせランプ
- **ふたロックランプ**：点灯している間、ふたは開きません。(→P15)
- **チャイルドロックランプ**：チャイルドロックが設定されると点灯します。点灯している間、ふたは開きません。(→P15)
- **予約ランプ**：予約設定時に点灯します。(→P26)



運転内容の変更

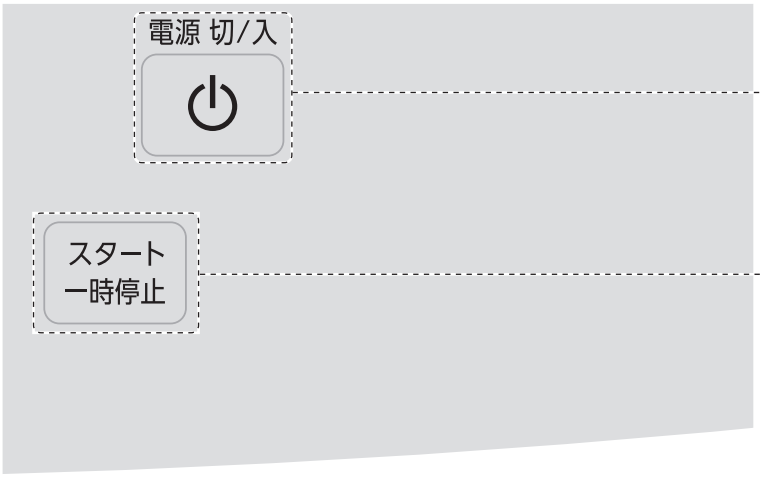
コースを選んだ後に各ボタンを押すと変更することができます。
(→P24)
変更できないコースもあります。

水量ボタン・ランプ
水量を変更できます。
水量が設定されていると点灯します。

洗いボタン・ランプ
洗い時間を変更できます。
洗い工程が設定されていると点灯し、洗い運転中に点滅します。

すすぎボタン・ランプ
すすぎ回数とすすぎ方法の変更ができます。
すすぎ工程が設定されていると点灯し、すすぎ運転中に点滅します。

脱水ボタン・ランプ
脱水時間を変更できます。
脱水工程が設定されていると点灯し、脱水運転中に点滅します。



電源の切／入

電源 切／入ボタン
電源の切／入ができます。
電源を入れて約30分以内にスタートをしない場合、自動で電源が切れます。

運転の開始・一時停止

スタート／一時停止ボタン
運転の開始、または一時停止ができます。

運転内容を選ぶ

コースボタン・ランプ
運転内容に合ったコース設定ができます。
(→P18 ～ 27、30、31)
コース（水量は洗濯物の量とコース）に合わせて、自動でランプが点灯、点滅します。

部屋干し

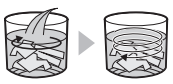
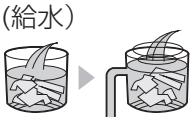
部屋干しとは、脱水後さらに、洗濯･脱水槽の回転で、湿った空気を排出し、洗濯物の水分を飛ばします。
設定できないコースもあります。
- 部屋干しを追加するときは、運転コースを選択したあとに、**部屋干し**ボタンを押してください。
- **部屋干し**ボタンを押すたびに、時間が切り替わります。
- 部屋干しを設定すると、脱水終了後、部屋干し工程を開始します。

予約する

予約ボタン
運転終了時間を予約できます。(→P26)

すすぎの種類

すすぎは3種類あります。
「シャワーすすぎ」と「ためすすぎ」は、あらかじめ設定されているので選べません。
「注水すすぎ」は１～３回とも選べます。

シャワーすすぎ		洗濯機をゆっくり回転させながら、滝のようにそそぎます。 (洗剤分を含んだ水を排水するので水は指定水量までたまりません。)
注水すすぎ		指定水量まで水をため、給水しながらすすぎます。 (水はあふれません。)
ためすすぎ		水をためてすすぎます。

運転前の準備と確認

洗濯できないもの

洗濯物の縮み・型崩れ・変色・損傷・風合いの劣化などのおそれがあるもの

- **以下の取り扱い絵表示のあるもの**
  - または ：家庭での水洗いはできない、または洗濯処理はできない
  - または ：石油系ドライクリーニング
- **取り扱い絵表示や素材表示のないもの**
- **皮革・毛皮・羽などが使われている製品**
- **和服・和装小物**
- **ネクタイ・スーツ・コート**
- **レーヨン・キュプラ及びそれらの混紡が使われている製品**
- **絹製品**
- **ベルベットなどのパイル地製品**
- **強撚糸（強くよじった糸）を使用した製品（ウール・ちりめんなど）**
- **毛100%または毛足10mm以上の毛布やカーペットカバー**
- **くつ**
- **コーティング加工・樹脂加工・エンボス加工をした製品**

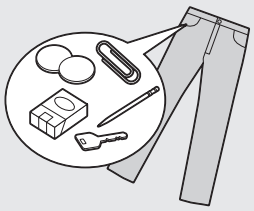
脱水時、異常振動などのおそれがあるもの

- **防水性製品**
  洗濯できる表示があっても洗わないでください。
- **玄関マット・ラグマット・バスマット・敷物**
  裏面にゴムの付いているもの、毛足の長いもの、厚手のもの
- **カーペット**
- **座ぶとん・まくら・クッションなど**
- **ペットなどの毛が多量に付着したもの**
- **市販の洗濯補助具**
  洗濯ボール・ごみ取りフィルターなど

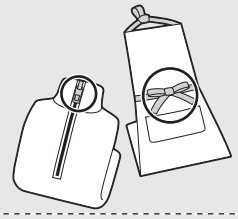
洗濯物の確認

※ 洗濯の際は、洗濯物の取り扱い絵表示を確認してください。

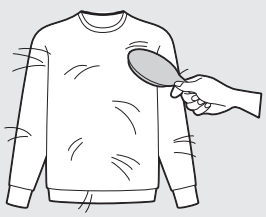
洗濯物の傷みや排水経路のつまりの原因になりますので、洗濯物の確認を必ず行ってください。



- **ポケットの中のもの（硬貨・ねじ・ヘアピン・くぎ・つまようじ・砂・マッチ・ライターなど）は取り除く**
- **カーテンのフックは取り外す**



- **ひもなどは結び、ファスナー・面ファスナーは閉め、ボタンはとめる**



- **髪の毛・動物の毛・泥・砂などはブラシで落とす**

- **起毛素材（コーデュロイなど）・毛玉のできやすいセーター・特殊印刷のあるTシャツは裏返す**

・ 摩擦やかくはんなどで表面が傷みやすい製品は、裏返すか洗濯用ネットに入れてください。

洗濯物の仕分け

色落ちや糸くずを防止するために、分けて洗濯をしてください。

●色の濃いものを分ける
色の濃いものは、洗濯物の目立たない部分で、白いタオルなどに洗剤液を含ませて押しつけ、色落ちしないか確認してください。
色落ちするものは、色ごとに分けて洗ってください。

●糸くずが出やすいものと、目立つものを分ける
タオルなどは、糸くずが出やすいので分けて洗ってください。
コーデュロイや色の濃いものなど、糸くずが目立つものは、糸くずが出やすいものと分けるか、市販の糸くず防止ネットに入れて洗ってください。

傷みや洗い残しを防止するため、次の洗濯物は市販の洗濯用ネットに入れてください。

●小物衣類（乳幼児のくつ下、ハンカチなど）
軽い衣類は洗濯中にドア付近に集まりやすいので、洗濯用ネットに入れて洗ってください。そのままだと、洗濯や脱水が十分にできないことがあります。

●ワイヤー入りのブラジャー
市販のブラジャー専用ネットに入れて洗ってください。

●レースの付いた製品・フリルや飾りボタンの付いた製品・ストッキングやタイツなど

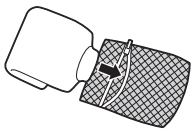
ⓘ お願い

- 洗濯用ネットに入れる量はできるだけ少なくしてください。たくさんの衣類を1つの洗濯用ネットに入れると、バランスが取れずに脱水時の振動が大きくなり、停止してしまうことがあります。
- 洗濯用ネットに入れた洗濯物は、必ずそれ以上の量の他の衣類と一緒に洗濯・脱水槽に入れてください。洗濯用ネットに入れたものだけだと、洗濯物が1か所に片寄るため脱水時の振動が大きくなり、停止してしまうことがあります。ネットに入れた衣類が少量でも、必ず同量以上の衣類を一緒に入れてください。
- 洗濯用ネットに入れた洗濯物は先に入れてください。

大きなもの（毛布・ふとん・ジーンズ・バスタオルなど）、または洗濯用ネットに入れられないものは洗濯用ネットを使用しないでください
脱水時に異常振動が発生したり、バランスが取れずに脱水が停止してしまうことがあります。

■ 洗濯用ネットの使いかた

- 付着しているごみや糸くずを取り除く。
- 汚れた部分（えりやそでなど）が表に出るように裏返し、1枚ずつ目の粗い市販の洗濯用ネットに入れる。



洗濯用ネットが1つだけの場合

- 衣類が1か所に固まることによって脱水時の振動が大きくなることを防ぐため、他の衣類も一緒に洗濯・脱水槽に入れてください。同時に入れる衣類は、タオルなど糸くずが出やすいものや汚れがあるものは避けてください。

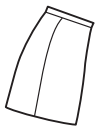
洗濯物の入れかた

洗濯物を入れるときは次の点にご注意ください。

- **コースによって、洗濯できる最大量が決まっています。**最大量を超えないようにしてください。(→P17)
- **ジーンズ、バスローブ、トイレマット、綿の厚手のトレーナーなど、厚手のものやかさばるものを1枚だけで入れないでください。**洗濯物が1か所に片寄るため、脱水時の振動が大きくなり、停止してしまうことがあります。

衣類の重さ（目安）

パジャマ上下（綿）
約500g


スカート（混紡）
約400g

ワイシャツ（混紡）
約200g

アンダーシャツ（綿）
約130g

シーツ（綿）
約500g

バスタオル（綿）
約300g

タオル（綿）
約70g

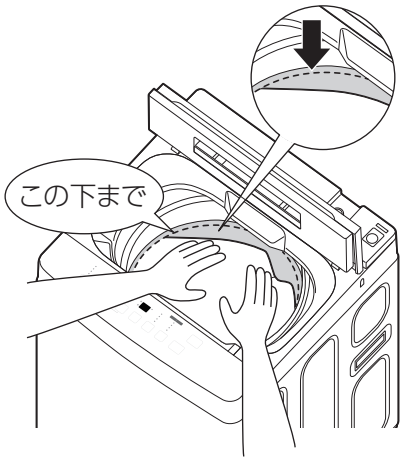
ブリーフ（綿）
約50g

くつ下（混紡）
約50g

※ 素材によって重さは異なります。

ポイント

- **洗濯物を入れすぎると洗濯・脱水槽内で洗濯物がよく動かず、洗浄力が低下することがあります。**
  洗濯物の量が多いと感じたときは、1回の洗濯物の量を少なめにして、洗濯・脱水槽内で洗濯物がよく動くように調整してください。



ポイント

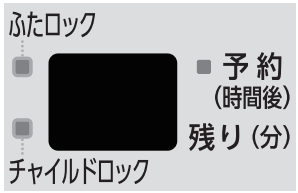
- **重いものや水に浮きやすいもの、小さいものを先に入れてください。**
  衣類が飛び出して洗濯機の内部に当たることで、衣類が破けたり、故障の原因になります。
  水に浮きやすいものの例
  ・ポリエステル、ナイロン、アクリルなど
  小さいものの例
  ・ハンカチ、くつ下など

ふたロック／チャイルドロック

ふたロックについて

※ 運転中は安全のため、自動的にふたロックがかかります。

ドアロックの状態は、操作パネルの**ふたロック**ランプで確認できます。



・ふたロックがかかっている状態 → ふたロックランプが点灯
・ふたロックが解除されている状態 → ふたロックランプが消灯

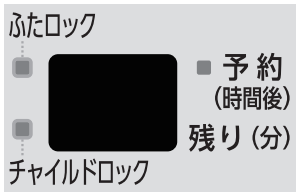
運転中、途中でふたロックを解除するには、スタート 一時停止 を押す
一時停止後ふたロックが解除されます。

※ 脱水の途中でボタンを押したときは、洗濯脱水槽が完全に止まってから、ふたロックが解除されます。

チャイルドロックについて

※ 子どもの事故防止のため、チャイルドロックをかけられます。

チャイルドロックを設定すると、電源の入/切に関係なく、ふたロックがかかります。



・チャイルドロックがかかっている → チャイルドロックランプが点灯
・チャイルドロックが解除されている → チャイルドロックランプが消灯

チャイルドロックの設定・解除は、電源が入っているときに、すすぎ + 脱水（同時押し／チャイルドロック）を同時に押す。

※ 運転中に停電した場合、電気が回復してから電源ボタンを押して電源を入れてください。ふたロックが解除されます。

注意

●チャイルドロック設定中は、電源が入っていない状態でもふたロックがかかります。ふたを無理に開けると故障の原因になります。

洗剤・柔軟剤・漂白剤について

洗剤・柔軟剤・漂白剤の目安量

洗濯物の量	水量	合成洗剤			粉石けん	柔軟剤	
		粉末洗剤	液体洗剤	液体中性洗剤		一般タイプ	濃縮タイプ
4.0～7.0kg	55L	約37g	約37ml	約73ml	約66g	約37ml	約14ml
2.5～4.0kg	46L	約30g	約30ml	約62ml	約56g	約30ml	約11ml
1.0～2.5kg	36L	約24g	約24ml	約48ml	約43g	約24ml	約8ml
0～1.0kg	25L	約17g	約17ml	約33ml	約30g	約17ml	約6ml

※ **お急ぎ**コースで洗濯するときは、洗剤の量を半分にしてください。
※ すすぎ1回コースで洗濯するときは、すすぎ1回専用洗剤を使用してください。
※ わからない場合は、洗剤・柔軟剤・漂白剤の説明書を確認してください。

●洗剤は入れすぎないでください。入れすぎると泡が立ちすぎて、周囲にあふれたり、すすぎが不十分になったりします。

漂白剤の入れかた

粉末漂白剤	**液体漂白剤**
・**粉末合成洗剤・漂白剤**投入口に入れます。(洗剤と同時)	・**漂白剤注入口**（液体用）に入れてください。

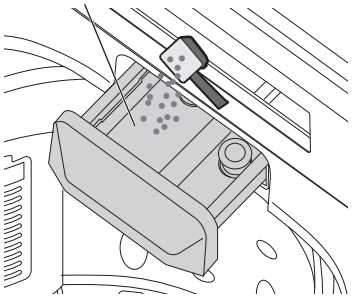
※ 漂白剤の量は、漂白剤の説明書きにしたがってください。

洗剤の入れかた

粉末合成洗剤

・粉末合成洗剤を入れるときは、中の部品をすべて外してください。
・粉末合成洗剤は、入れすぎないでください。洗剤が固まって残ることがあります。

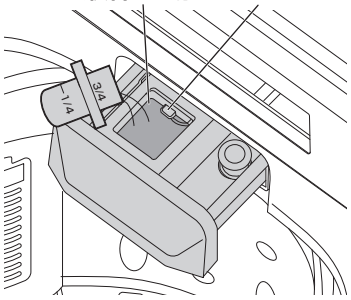
粉末合成洗剤・漂白剤



液体洗剤・液体中性洗剤

・液体洗剤・液体中性洗剤は「MAX」のツバより多く入れないでください。運転開始前にサイホン現象で自動的に投入されてしまい、効果が出ません。

液体洗剤　ツバ



粉石けん

①約30℃のぬるま湯約5Lをかき回しながら、粉石けんを少しずつ入れて、洗剤液を作る。
②洗濯物の量検知後、洗濯・脱水槽に入れる。

●運転終了後に洗剤投入ケースに少し水が残る場合がありますが、異常ではありません。

柔軟剤の入れかた

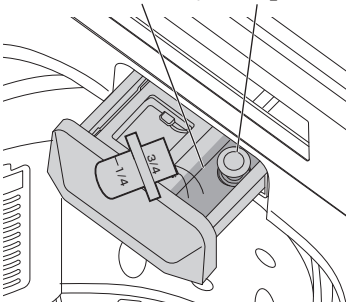
柔軟剤投入口に入れる

・柔軟剤はキャップの「MAX」のツバより多く入れないでください。運転開始前にサイホン現象で自動的に投入されてしまい、効果が出ません。
・種類によっては流れにくいものもあります。同量の水で溶かしてから入れてください。
・少量の水と混ざると固まるものがあります。柔軟剤の説明にしたがってください。
・脱水のときに、洗濯物の片寄りを検知すると、給水して片寄りを修正します。このため、柔軟剤の効きが弱くなる場合があります。

注意

●**スタート／一時停止**ボタンを押した後は、洗濯・脱水槽に触れないでください。

柔軟剤　キャップの「MAX」のツバ



洗濯コースの詳細

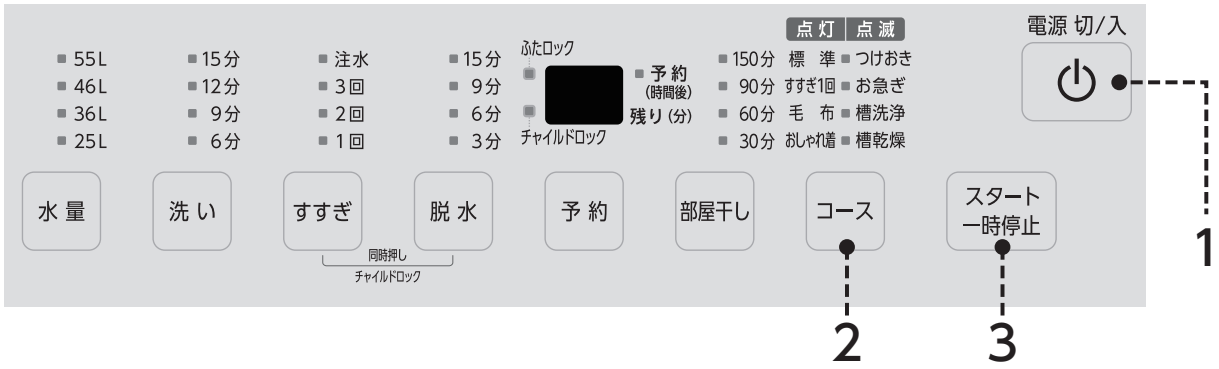
用途に合わせた洗濯コースを選ぶのがポイントです。また、コースによって設定できる項目が変わりますので、下表を参考に設定をしてください。

こんなときに		コース名	洗濯できる最大量	設定可能な工程と範囲			目安運転時間	予約
				洗い時間	すすぎ回数	脱水時間		
日常の衣類に	ふだんの洗濯に	標準 →P18	7.0kg	なし〜15分	0回〜3回 注水 ○	なし〜15分	43分	○
	洗濯時間を短縮したいとき	すすぎ1回 →P18	7.0kg	なし〜15分	1回 注水 ○	なし〜15分	38分	○
	もっと早く洗濯したいとき	お急ぎ →P18	3.5kg	なし〜15分	0回〜3回 注水 ○	なし〜15分	34分	○
デリケートな衣類に	ウールやレースの付いた製品に	おしゃれ着 →P22	2.0kg	なし〜15分	0回〜3回 注水 ○	なし〜15分	30分	○
汚れの多い衣類に	汚れが多いときに	つけおき →P18	4.0kg	なし〜15分	0回〜3回 注水 ○	なし〜15分	83分	○
毛布などに	毛布などの大物洗濯に	毛布 →P20	3.0kg	なし〜15分	0回〜3回 注水 ○	なし〜15分	55分	○
洗濯槽のお手入れに	洗濯槽の汚れを落としたいときに	槽洗浄 →P30	—	15分	0回	3分	26分	×
	洗濯槽の乾燥をするときに	槽乾燥 →P31	—	なし	0回	なし	30分	×

※ おしゃれ着、毛布、槽洗浄の水量は固定です。
※ 槽乾燥の水量は設定できません。

使いかた　標準・すすぎ1回・つけおき・お急ぎ

日常的にご使用いただける4つのコースで洗濯を行うときの手順です。



準備

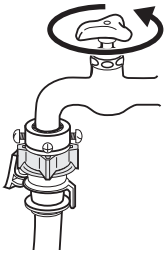
運転前の準備と確認 (→P12 ～ 14)

① **洗濯物を確認して入れる**
- **洗えるものを確認**
- ごみや糸くずを取り除く

洗濯容量	
標準コース	7.0kgまで
すすぎ1回コース	7.0kgまで
つけおきコース	4.0kgまで
お急ぎコース	3.5kgまで

ポイント
- 素材によって重さは異なるので、慣れないうちは少なめに入れてください。
- 汚れ落ちや脱水のしぼり具合を良くするために、少なめの量での洗濯をおすすめします。
- ひもなどが出ている場合は、できるだけ結んでください。
  ひもが飛び出して衣類の損傷や、故障の原因になります。

② **水栓を開ける**



1

電源 切/入 ⏻ **を押して電源を入れる**

2

コース **を押して「コース」を選ぶ**

ふだんのお洗濯は標準コースを選んでください。

コース	初期設定			
	洗濯物の計量	洗い時間	すすぎ回数	脱水時間
標準	○	9分	2回	9分
すすぎ1回	○	9分	1回	9分
つけおき	○	15分	2回	6分
お急ぎ	○	6分	2回	6分

ポイント
- 洗い時間など各工程の時間・回数などの変更ができます。(→P24)

3 スタート 一時停止 を押す

パルセーターが回転し、洗濯物を計量します。
約10秒後、水量ランプが点灯します。

ポイント

- **水量について**
  軽い洗濯物（化繊の衣類・シーツなど）を入れると水量が低く設定されることがあります。また、ぬれた衣類を入れると水量が高く設定されることがあります。**水量**ボタンで設定を変更してください。

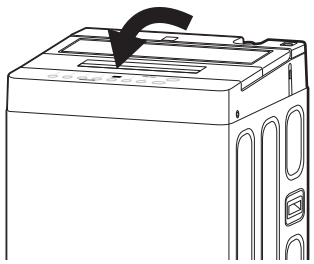
4 洗剤・柔軟剤などを洗剤投入ケースに入れる (→P16)

水量ランプを目安に洗剤・柔軟剤などを入れてください。

5 ふたを閉める

→運転を開始します。

2分以内にふたを閉めないと、E2-1エラーが表示され、「ピー」と音が鳴ります。



6 運転終了後、洗濯物を取り出し、洗濯機をお手入れする

「お手入れ」（→P28）**を参考にお手入れをしてください。**

- 糸くずフィルターのお手入れは定期的に行ってください。

ポイント

- 洗濯物はしわにならないように、早めに取り出してください。

使いかた　毛布

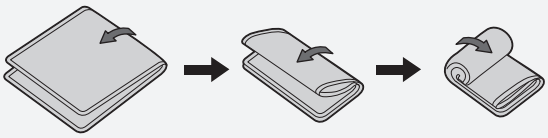
毛布など大物に適したコースです。

準備

洗濯物を入れる

① 折りたたむ

長いほうを四つ折りまたは八つ折りにし、短いほうに巻く。
※ 折りたたむ前に、ごみや糸くずを取り除いてください。



② 毛布洗い用洗濯ネットに入れる

縁のあるほうを下になるように洗濯用ネットに入れ、ファスナーを閉める。

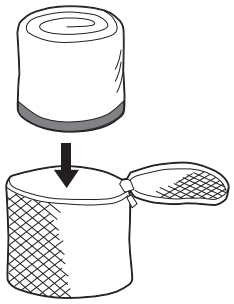
> ! 注　意
> 必ず、毛布洗い用洗濯ネットに入れて洗濯してください。

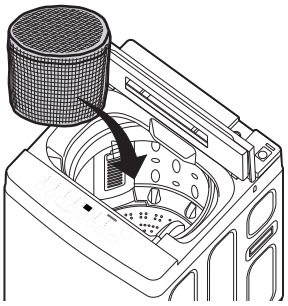
③ 洗濯槽に入れる

ファスナーを上にして入れてください。

ポイント

- 毛布洗い用洗濯ネットに入れるため、できるだけ高さを低くするように折ってください。
- マイヤー毛布以外はゆるめに巻いてください。

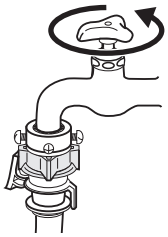




ポイント

- 洗濯物が水に浮きやすい場合は、給水後一時停止して、洗濯物を上から押さえて十分に洗浄液をしみ込ませてください。

水栓を開ける



洗濯できるもの	洗濯できないもの
・毛布 手洗イ 30 または の表示があるもの 40 または 40 の表示のあるもの 種類：マイヤー毛布、タフト毛布、綿毛布 大きさ：シングルサイズ（140×200cm）まで ・カーペットカバー、ベッドパッド、カーテン	・毛100%の毛布・カーペットカバー ・防水性のあるもの ・化繊以外の詰め物がされているふとんなど ・電気毛布・電気マット ※ 洗える電気毛布は電気毛布の取扱説明書にしたがってください。

1

電源 切/入

を押して電源を入れる

2

コース **を押して「毛布コース」を選ぶ**

コース	初期設定			
	洗濯物の計量	洗い時間	すすぎ回数	脱水時間
毛布	×	15分	2回	15分

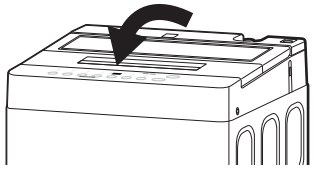
3

洗剤・柔軟剤などを洗剤投入ケースに入れる
(→P16)

水量ランプを目安に洗剤・柔軟剤などを入れてください。
(水量は55Lで固定です。変更できません。)

ポイント

- 液体合成洗剤または液体中性洗剤をご使用ください。
- 粉末洗剤は溶け残る場合があります。使用できない洗剤もありますので、洗剤に記載されている内容を確認してください。



4

ふたを閉め、 スタート 一時停止 **を押す**

→運転を開始します。

2分以内にふたを閉めないと、E2-1 エラーが表示され、「ピー」と音が鳴ります。

5

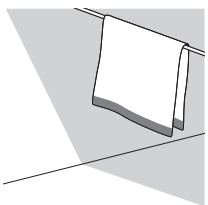
運転終了後、洗濯物を取り出し、洗濯機をお手入れする

「お手入れ」(→P28) **を参考にお手入れをしてください。**

- 糸くずフィルターのお手入れは定期的に行ってください。

ポイント

- 洗濯物を取り出すときは、ファスナーを開けて、先に毛布を取り出してください。
- 洗濯物は、風通しのよい直射日光の当たらないところで乾かしてください。



使いかた　おしゃれ着

デリケートな洗濯物に適したコースです。

準備

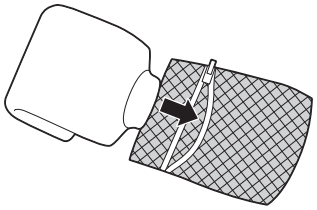
洗濯物を入れる

① 洗濯物の確認と準備

- 色落ち：白いタオルの上に衣類の目立たないところを載せ、洗剤液をしみ込ませた白いタオルでたたき、色移りしないか確認してください。タオルに色移りした場合、洗わないでください。
- プリーツ加工のもの：プリーツはしつけ糸で縫い留めしてください。
- 部分汚れがある場合：えり・そでなど部分汚れがあるところは、洗剤の原液をつけてやわらかいブラシで軽くたたいてください。

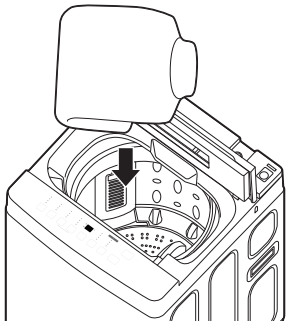
② デリケートな衣類は洗濯用ネットに入れる

1枚ずつ目の粗い市販の洗濯用ネットに入れてください。
衣類は裏返して、えり・そでなど汚れたところが表に出るようにしてください。



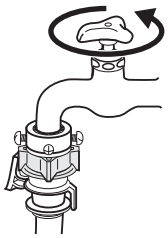
③ 洗濯槽に入れる

平らになるように重ねて入れてください。



> ⓘ 注　意
>
> 洗濯用ネットを使用する場合は、衣類が1か所に片寄らないように、2・3個の洗濯ネットに分けて入れてください。衣類が1か所に片寄ることにより、脱水時の振動が大きくなることを防ぎます。一緒に入れる衣類は、タオルなど糸くずが出やすいものや汚れのあるものは避けてください。

水栓を開ける



洗濯できるもの	洗濯できないもの
手洗イ 30 または の表示があるもの ・ウールのセーター・カーディガンなど ・スラックス・スカート・学生服類 ・ブラウス・シャツ・ランジェリー類 ※ 上記でも洗えないものがあります。	・水につけると、形くずれ・縮み・風合いの低下を起こしやすいもの ・皮革製品、または皮革・羽・毛皮などの飾りのあるもの ・シルク・レーヨン（ポリノジックを含む）・キュプラおよびその混紡品（裏地に使われているものも洗わないでください。） ・スーツ・ジャケット・コート・ネクタイなど、形くずれしやすいもの ・コーティング・樹脂加工（接着剤を使用したもの）・エンボス加工・しわ加工がほどこされたもの ・ちりめんなどの強撚糸を使用したもの ・毛布・カーテンなど大きなもの・重いもの ・水に浮いてしまうもの、防水加工されたもの、水で色落ちするもの

1

電源 切/入

⏻ を押して電源を入れる

2

コース を押して「おしゃれ着コース」を選ぶ

コース	初期設定			
	洗濯物の計量	洗い時間	すすぎ回数	脱水時間
おしゃれ着	×	9分	2回	3分

3

洗剤・柔軟剤などを洗剤投入ケースに入れる
(→P16)

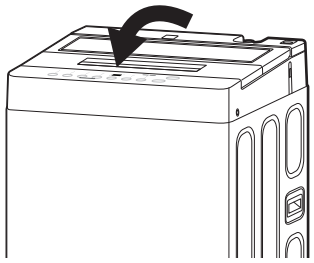
水量ランプを目安に洗剤・柔軟剤などを入れてください。
（水量は46Lで固定です。変更できません。）

4

ふたを閉め、スタート 一時停止 を押す

→運転を開始します。

2分以内にふたを閉めないと、E2-1 エラーが表示され、「ピー」と音が鳴ります。



5

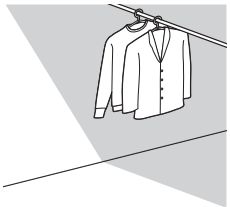
運転終了後、洗濯物を取り出し、洗濯機をお手入れする

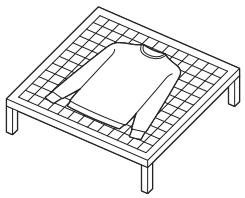
「お手入れ」（→P28）**を参考にお手入れをしてください。**

・糸くずフィルターのお手入れは定期的に行ってください。

ポイント

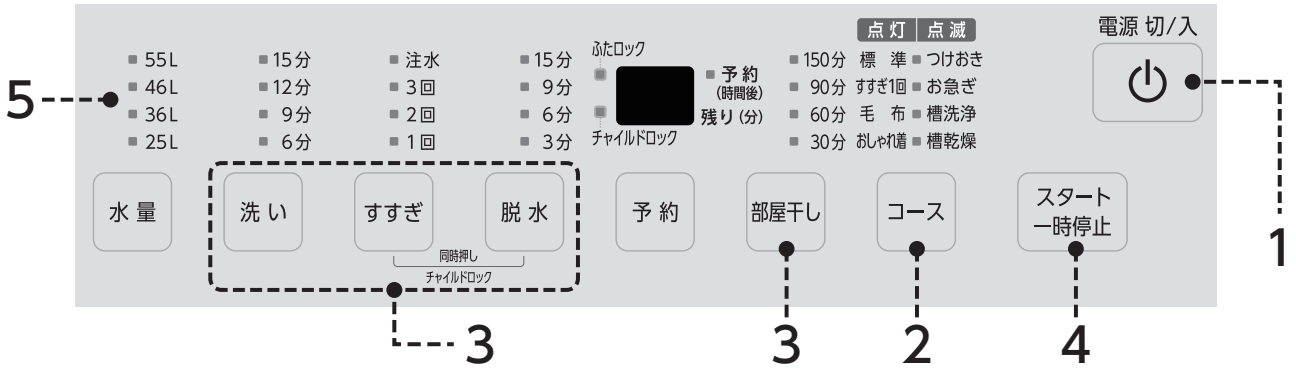
・洗濯物は早めに取り出して、しわをのばすように広げ、風通しのよい直射日光の当たらないところで乾かしてください。セーターなどは平干ししてください。





使いかた　コースの設定を変更して洗濯する

洗い時間・すすぎ回数・脱水時間を個別に設定して洗濯することができます。
また、それぞれの工程を単独で運転することも可能です。
※コースによっては設定できない場合があります。(→P17)



準備

運転前の準備と確認 (→P12 ～ 14)

① **洗濯物を確認して入れる**
- **洗えるものを確認**
- ごみや糸くずを取り除いてください。

② **水栓を開ける**

1

電源 切/入

を押して電源を入れる

2

を押して「コース」を選ぶ

※ コースの詳細は、「使いかた」の各コース内容を参照してください。

ポイント
- それぞれの工程を単独で運転する場合は、運転しない工程の時間のランプを消灯させてください。
  運転する工程のランプだけを点灯させてください。

3

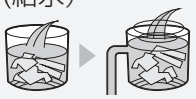
変更をしたい工程のボタンを押して設定を変更する

洗い時間	6分　9分　12分　15分
すすぎ回数	1回　2回　3回　注水※1
脱水時間	3分　6分　9分　15分
部屋干し※2	30分　60分　90分　150分

ポイント
- 部屋干しを押すたびに、時間が切り替わります。
- 部屋干しを設定すると、脱水終了後、部屋干しを開始します。

※1：注水：設定水量に関係なく、最大水量まで給水後、かくはん・注水しながら、すすぎます。

(給水)



※2：部屋干し：脱水後さらに、洗濯・脱水槽の回転で、湿った空気を排出し、洗濯物の水分を飛ばします。

洗い工程だけを運転する場合

洗い を押して洗い時間を選ぶ

すすぎ工程だけを運転する場合

排水と脱水が終了してから給水が始まります。

すすぎ を押してすすぎ回数を選ぶ

脱水工程だけを運転する場合

排水が終了してから脱水が始まります。

脱水 を押して脱水時間を選ぶ

4 スタート 一時停止 を押す

洗濯槽が回転し、洗濯物を計量します。
約10秒後、選んだコースに合わせてランプが点灯します。

5 洗剤・柔軟剤などを洗剤投入ケースに入れる

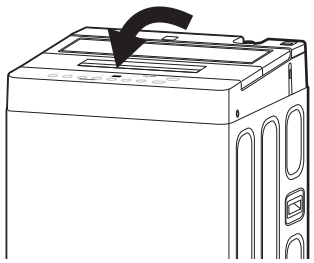
(→P16)

水量ランプを目安に洗剤・柔軟剤などを入れてください。

6 ふたを閉める

→運転を開始します。

2分以内にふたを閉めないと、E2-1 エラーが表示され、「ピー」と音が鳴ります。



7 運転終了後、洗濯物を取り出し、洗濯機をお手入れする

「お手入れ」(→P28) **を参考にお手入れをしてください。**

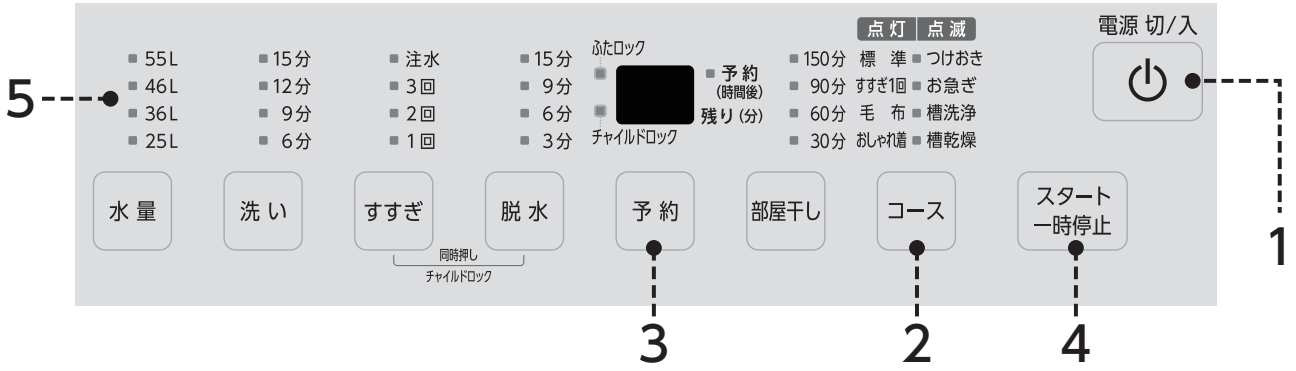
- 糸くずフィルターのお手入れは定期的に行ってください。

ポイント

- 洗濯物はしわにならないように、早めに取り出してください。

使いかた　タイマー予約運転

運転終了時間を予約することができます。
※おしゃれ着コース・槽洗浄コース・槽乾燥コースでは使えません。



準備

運転前の準備と確認 (→P12 ～ 14)

① **洗濯物を確認して入れる**
- **洗えるものを確認**
- ごみや糸くずを取り除く

② **水栓を開ける。**

1

電源 切/入

を押して電源を入れる

2

コース **を押して「コース」を選ぶ**

※ コースの詳細はP24を参照してください。

3

予約 **を押して運転終了までの時間を設定する**

- **予約**ランプが点灯します。
- 1時間ごとに2 ～ 24時間後まで設定できます。
  (1時間後は設定できません)
- 水量ランプが点灯します。

4

スタート 一時停止 **を押す**

洗濯槽が回転し、洗濯物を計量します。
水量ランプが点灯します。
時間が経過するごとに表示時間が減ります。

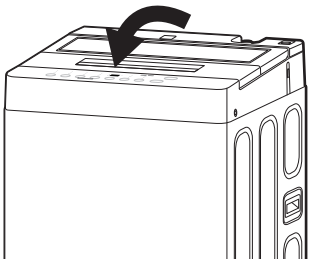
5 洗剤・柔軟剤などを洗剤投入ケースに入れる (→P16)

水量ランプを目安に洗剤・柔軟剤などを入れてください。

6 ふたを閉める

→運転開始時間になると、予約した時間に終わるように運転を開始します。

2分以内にふたを閉めないと、E2-1 エラーが表示され、「ピー」と音が鳴ります。



7 運転終了後、洗濯物を取り出し、洗濯機をお手入れする

「お手入れ」(→P28) を参考にお手入れをしてください。

・糸くずフィルターのお手入れは定期的に行ってください。

ポイント

・洗濯物はしわにならないように、早めに取り出してください。

お手入れ

糸くずフィルター／漂白剤注入口

使用後は機能低下や故障を防ぐために定期的にお手入れしてください。

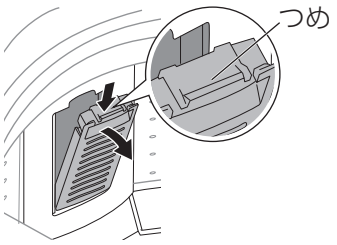
ⓘ お願い

●シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

糸くずフィルター　毎回

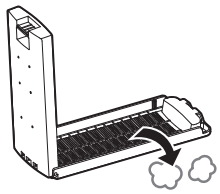
目詰まりすると糸くずが取れにくくなります。

1 **糸くずフィルターのつめを押し下げて、手前に引いて取り出す**

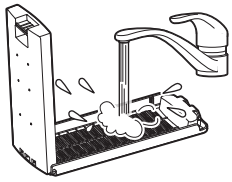


2 **糸くずフィルターのカバーを開け、糸くずを取り除く**

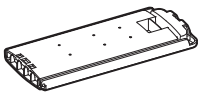
・糸くずのたまる量は衣類によって異なります。
糸くずがたまっていなくても、衣類に汚れが付着していなければ問題ありません。



3 **水洗いする**

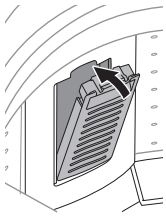


4 **糸くずフィルターのカバーをしっかり閉じる**



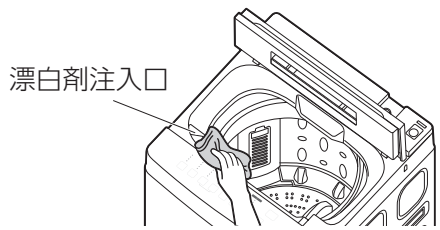
5 **元どおり糸くずフィルターを取り付ける**

・糸くずフィルターの上下を確認し、下端を差し込んで、上部をカチッとなるまで押し込んでください。



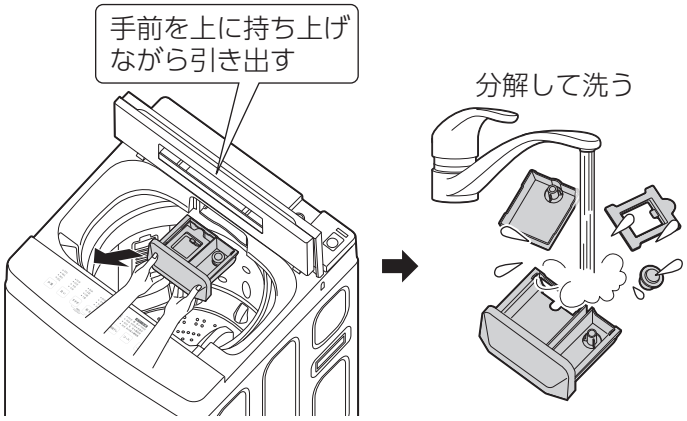
漂白剤注入口

水でぬらし、よく絞ったやわらかい布で、汚れを拭き取る



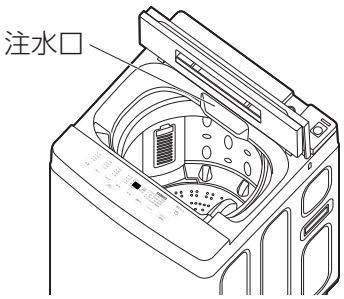
洗剤投入ケース　汚れたら　洗剤・柔軟剤が流れ出なくなったら

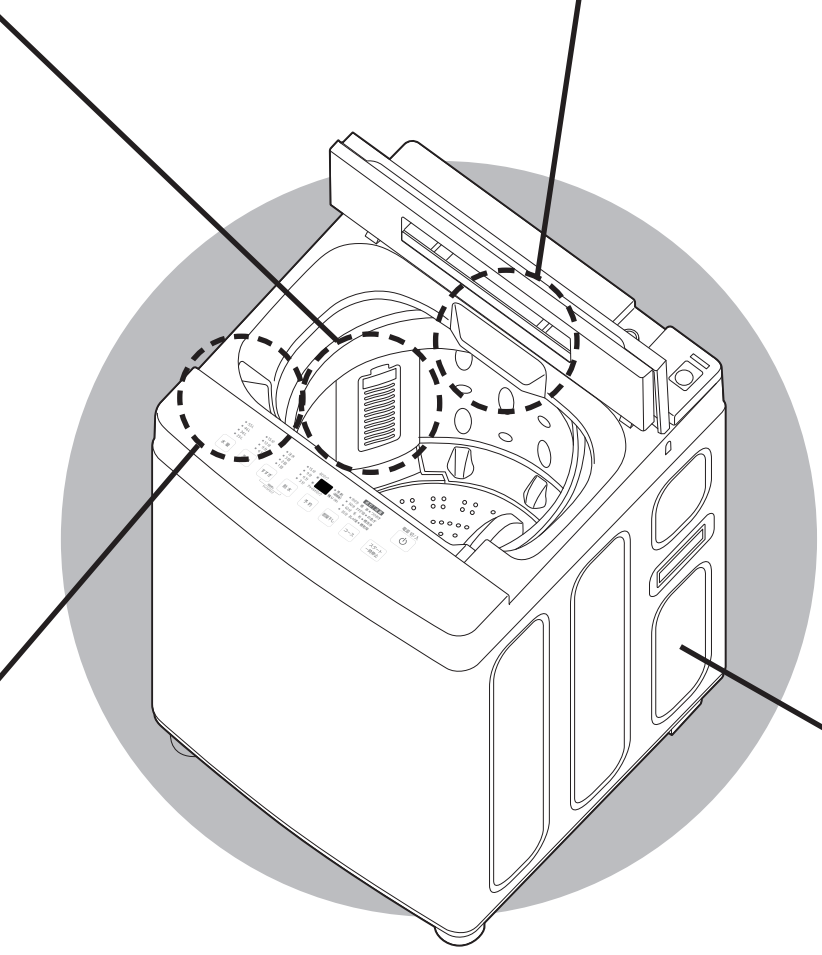
外して水洗いする



・取り付けるときは、逆の手順で取り付ける。

洗剤投入ケースを外したときに、注水口の汚れを拭き取る





本体外側　汚れたら

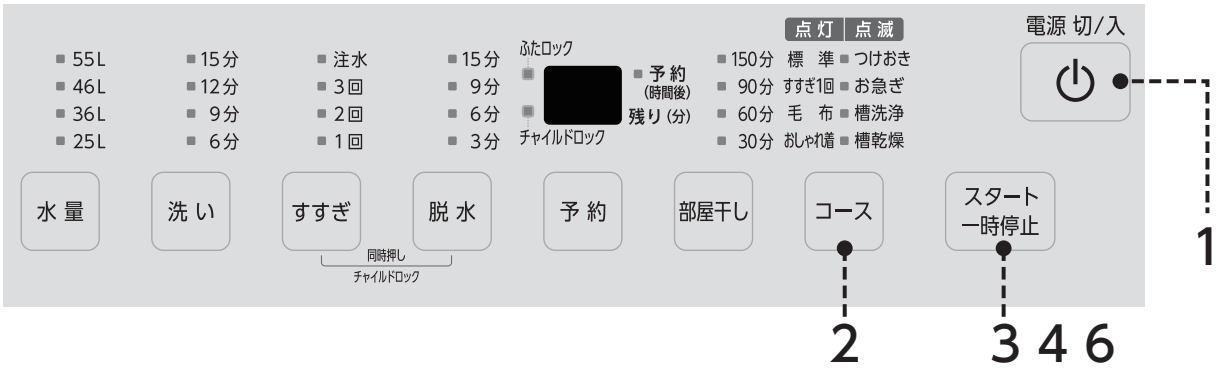
洗剤が付いたり、汚れているときはお手入れしてください。

水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませたやわらかい布をよく絞って、汚れを拭き取る

・汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、固く絞った布などで洗剤を拭き取ってください。

槽洗浄

洗濯機内部がかび臭い・汚れが目立つ・洗濯物に洗剤かすが付着するときは、槽洗浄を行ってください。



1 水栓を開け、電源 切/入 を押して電源を入れる

2 コース を押して「槽洗浄」を選ぶ

3 ふたを閉め、スタート 一時停止 を押す

- 給水を開始します。
- 水量は55Lで固定です。変更できません。

4 給水が終了したら スタート 一時停止 を押して一時停止する

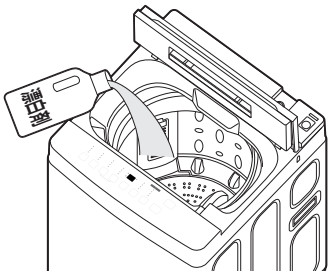
5 ふたを開け、洗濯槽クリーナーを洗濯脱水槽に入れる

ポイント

洗濯槽クリーナーについて

- 槽洗浄には市販の塩素系漂白剤・洗濯槽クリーナーを使用してください。
- 使用する分量は、塩素系漂白剤・洗濯槽クリーナーの表示にしたがってください。

※ 塩素系漂白剤で特に指定がない場合は、約300mL使用してください。



6 ふたを閉め、スタート 一時停止 を押す➡運転開始

7 運転終了後、ふたを開け、糸くずフィルターをお手入れする

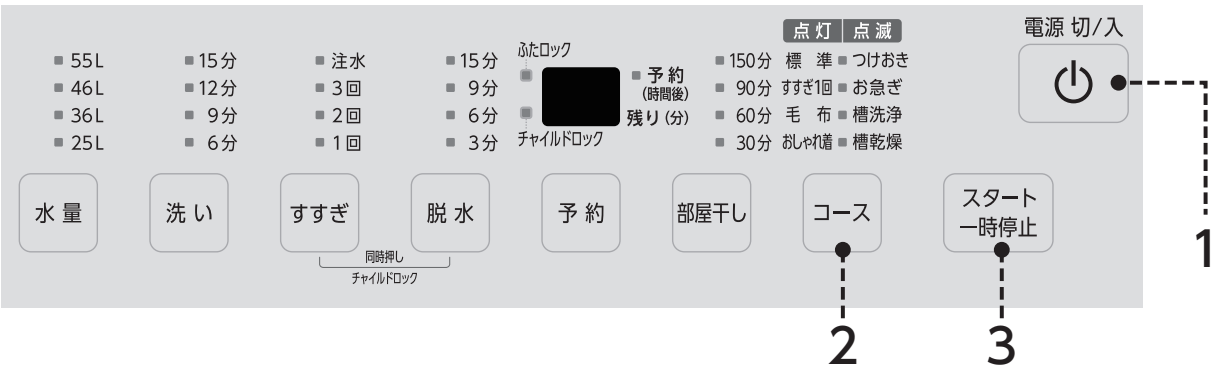
「お手入れ」(→P28) を参考にお手入れをしてください。

注意

- 塩素系漂白剤は、酸性のものや液体と絶対に混ぜないでください。
- 塩素系漂白剤が洗濯・脱水槽に付着しないように、必ず給水しているときに使用してください。
- 塩素系漂白剤が壁や本体外側に付いたときは、速やかに拭き取り、しばらくの間、換気扇を回してください。

槽乾燥

洗濯機内部の湿気を取り、かびの発生を抑えることができます。
1週間に1回程度、槽乾燥を行ってください。
※黒かびや洗剤かすは槽乾燥では取り除けません。槽洗浄を行ってください。



1 電源 切/入 ⏻ を押して電源を入れる

2 コース を押して「槽乾燥」を選ぶ

3 ふたを閉め、スタート 一時停止 を押す

・約30分で終了します。

こまったときは・・・

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みの上、以下の点を確認してください。

状態	理由・処置
洗濯がスタートしない	電源が入っていますか。 →**電源 切**／**入**ボタンを押して電源を入れてください。
	ふたが開いたままになっていたり、きちんと閉まっていますか。 →ふたをきちんと閉めてください。また、ふたの下に異物がはさまっていないか確認してください。
	タイマー予約の設定になっていませんか。 →すぐに洗濯する場合は、一旦電源を切り、再度電源を入れて、洗濯してください。
電源が入らない	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
水がもれる	給水ホースが水栓と確実に接続されていますか。 →給水ホースを水栓と確実に接続してください。(→据付説明書)
	給水ホースのスライダーと水栓が合っていますか。 →給水ホースのスライダーと水栓の形状が合っていないときは、据付説明書にしたがって合わせてください。
	給水ホース付属のホース継手が確実に水栓に取り付けられていますか。 →給水ホース付属のホース継手は、水栓に、すき間のないように確実に取り付け、しっかりねじを締めてください。(→据付説明書)
	排水口がつまっていませんか。 →洗濯機を取り外し、排水口を掃除してから、再度洗濯機を設置し直してください。(→据付説明書)
	排水ホースが排水口から外れていませんか。 →洗濯機を取り外し、排水ホースを排水口に確実に接続してください。(→据付説明書)
初めて使用したときに、排水ホースから水が出た	出荷時の性能テストの水が残っていたためです。 →異常ではありません。安心してご使用ください。
排水中にゴボゴボという音がする	排水が空気と混ざる音です。 →異常ではありません。
ふたが開かない	運転中に停電したときは、停電回復後、**電源 切**／**入**ボタンを押して電源を入れてください。
	チャイルドロックを設定していませんか。 →チャイルドロックを解除してください。(→P15)
排水されない	排水ホースが排水口に接続されていますか。 →排水ホースを、排水口に正しく接続してください。(→据付説明書)
	排水口がつまっていませんか。 →排水口を掃除してください。
	排水ホースが持ち上がっていませんか。 →排水ホースが、床面から10cm以上持ち上がらないようにしてください。
給水されない	すすぎから始まる運転を選んだときは、最初に排水・脱水します。 →最初に給水する必要があるときは、洗いから始めるように設定してください。
	水栓が開いていますか。 →水栓を開けてください。
	ふたが閉まっていますか。 →ふたを確実に閉めてください。
洗濯の途中で給水される	洗濯中に水位が下がると、自動的に不足分を給水します。 →故障ではありません。
	すすぎ時は最初は少なめの水位で、給水しながら運転します。 →故障ではありません。

状態	理由・処置
脱水の途中で給水される	洗濯物の片寄りを検知すると、一時停止して、給水して片寄りを修正します。 →異常ではありません。給水後再び脱水になります。 片寄りが修正しきれないときは、ブザーが鳴って停止します。
ブザーが鳴って、 脱水が途中で停止する	洗濯物が片寄っていて脱水できません。洗濯物の片寄りを検知すると、一時停止して、給水して片寄りを修正しますが、修正しきれないときは停止します。 →ふたを開け、洗濯物の片寄りを手で直してください。(必ず、脱水が完全に停止してから行ってください。)
洗濯物の量に 水位が合っていない	軽い衣料、水にぬれて重くなった衣料などを洗濯していませんか。 →洗濯の水位は最初のパルセーターの回転で検知します。軽い衣料や水にぬれて重くなった衣料などを洗濯するときは、**水量**ボタンで水位を変更してください。
洗濯物の量を検知しない	洗濯・脱水槽に水が残ったまま運転していませんか。 →洗濯物を取り出して脱水運転で排水をしてください。
洗濯物に糸くずが付く	前回の洗濯物の糸くずがたまっていませんか。 →洗濯後毎回糸くずフィルターをお手入れしてください。(→P28)
	色の濃い衣料などは糸くずが目立ちます。 →市販の糸くず防止洗濯用ネットを使用してください。
洗濯物にごみが付く	洗濯・脱水槽が汚れている可能性があります (洗剤かす・かびなど)。 →**槽洗浄** (→P30) を行ってください。**槽洗浄**した後は、糸くずフィルターをお手入れ (→P28) してください。
洗濯物にしみが付く	柔軟剤が部分的に付いて、しみになることがあります。 →柔軟剤は直接衣類にかけないで、柔軟剤投入口に入れてください。(→P16)
洗濯物が黄ばむ	断水などの後、鉄さびなどでにごった水を使用していませんか。 →断水などの後は、水がきれいになるのを待って使用してください。また、白い洗濯物が黄ばんでしまったときは、市販の還元型漂白剤を使用してください。(色物・柄物には使用できません。)
洗濯物が傷む・毛羽立つ	デリケートな洗濯物を**標準**コースで洗っていませんか。 →デリケートな洗濯物は、洗濯用ネットに入れる・**おしゃれ着**コースで洗濯するなどしてください。また、毛羽立ちやすい洗濯物は裏返して洗濯するなどしてください。
洗濯物に洗剤が付く	水温が低いと洗剤が溶けにくくなります。 →水温が低いときは、風呂の残り湯を使用するなどしてください。
	洗濯物が軽かったり、分厚かったりすると、水に浮いて、洗剤が残りやすくなります。 →軽いものや分厚いものは、下のほうに沈めて洗濯してください。
	粉石けんを使用していませんか。 →粉石けんは溶けにくいことがあります。別の容器に約30℃のぬるま湯を用意し、溶かしてから使用してください。(→P16)
色移りする	色落ちしやすいものを一緒に洗濯していませんか。 →色落ちしやすいものは、色別にして洗濯してください。
水量が変更できない	変更できないコースを選んでいませんか。
汚れが落ちにくい	洗濯物を入れすぎていませんか。 →洗濯物の量を適正に減らしてください。
	洗剤が少ない可能性があります。 →洗濯用洗剤は、洗剤量のランプや、洗剤のパッケージの表記にしたがって、適正な量を入れてください。
	汚れの激しい洗濯物は、**つけおき**コースで洗ったり、**洗い**ボタンで洗いの時間を長くしたりして洗濯してください。
	泥や食べこぼしなど、落ちにくい汚れは、拭き取るなどの前処理をしてください。

こまったときは・・・　つづき

状態	理由・処置
洗濯物がごわごわする	パイル地のタオルなどは、パイルが寝て、ごわつくおそれがあります。 →柔軟剤を使用してください。
洗濯物がにおう	洗濯・脱水槽が汚れている可能性があります（かびなど）。 →**槽洗浄**を行ってください。(→P30)
	洗濯物を生乾きのまま放置していませんか。 →洗濯物は、洗濯終了後できるだけ早く取り出し、適正な方法で乾かしてください。
	においの付いた風呂の残り湯などを使用していませんか。 →においのする入浴剤が入っていたり、残り湯が古くなってにおいが付いたりした場合は、使用しないでください。
部屋干しモード運転をしたのに乾きが悪い	**部屋干し**モードは、室温や湿度、衣類によって乾きに差が出ます。 →乾きが足りないときは、洗いとすすぎをなしにして、脱水+**部屋干し**モードだけの追加運転をしてください。
音が大きい 振動する	電源コード・給水ホース・排水ホースなどが、洗濯機本体に当たっていませんか。 →電源コード・給水ホース・排水ホース、または本体の位置を調整して当たらないようにしてください。
	金属の小物などと一緒に洗濯していませんか。 →金属の小物などは、ポケットなどから取り出して洗濯してください。
	ファスナーやボタンなどが洗濯・脱水槽の内側に当たっているおそれがあります。 →ファスナーやボタンは閉じて洗濯してください。ファスナーやボタンなどがおもて側に出ている衣類は、裏返しにして洗濯してください。
	設置が悪く、がたついていませんか。 →水平で安定した場所に据え付けし直してください。(→据付説明書) キャスター台の上に設置していませんか。 →キャスター台はキャスターをロックしていても振動で不安定になります。キャスター台を外してください。 →水平で安定した場所に据え付けし直してください。(→据付説明書)
	洗濯物が片寄っているおそれがあります。 →洗濯物が片寄っていると、脱水時振動が大きくなります。**スタート**／**一時停止**ボタンを押して一時停止させ、ふたを開けて洗濯物の片寄りを直してください。
	洗濯機の近くの物が振動していたり、洗濯機に当たっていませんか。
水栓（蛇口）から 笛のような音がする	水圧により音がする場合があります。水栓（蛇口）を開けたり閉めたりして調整してください。
市販の風呂水ポンプを 使用したい	使用できません。
ふたロックが解除できない	・運転中に停電した場合、電気が回復してから**電源 切**／**入**ボタンを押して電源を入れてください。ふたロックが解除されます。 ・電源を切ってから入れ直してください。 ・チャイルドロックを設定している場合は、チャイルドロックを解除してください。
予約運転を設定したのに 運転していない	・**スタート**／**一時停止**ボタンを押しましたか。 ・途中で停電しませんでしたか。 ・予約ランプは点灯していますか。
操作音がうるさい	音は消せません。
洗剤、柔軟剤が ケースから流れ出ない	ケースの中でつまっていませんか。 →ケースの中を洗ってください。(→P29)
洗濯・脱水槽を揺らすと 水の音がする	振動を抑制するための「流体バランサー」の音です。 流体バランサーは洗濯・脱水槽の上部に取り付けています。 →異常ではありません。

お知らせ表示が出たら・・・

状態	理由・処置
洗濯が止まる エラー表示：E1	排水ホースが正しく取り付けられていない可能性があります。 →排水ホースの取り付け状態を確認してください。
	排水ホースや排水口がつまっている可能性があります。 →排水ホースと排水口を点検して、つまっているものを取り除いてください。取り除ききれないときは、アイリスコールへご相談ください。
洗濯が止まる エラー表示：E2-1	ふたが閉まっていません。ふたをきちんと閉めてください。 ふたに異物がはさまっていたら、取り除いてください。
洗濯が止まる エラー表示：E2-3	ふたロックがかかりません。 →ふたロック部に異物がはさまっている場合は、取り除いてください。ふたがきちんと閉まってない場合は閉めてください。
洗濯が止まる エラー表示：E3	洗濯物が片寄っていて脱水ができない可能性があります。 →ふたを開け、洗濯物の片寄りを直してください。
	洗濯物の量が多い可能性があります。 →洗濯物の量を減らしてください。
	洗濯用ネットに大量の洗濯物を詰め込んで洗濯していませんか。 →洗濯用ネットに入れる洗濯物は小分けにしてください。
	大きな洗濯物を洗濯していませんか。 →大きな洗濯物は**毛布**コースで、記載を守って洗ってください。(→P20)
	設置が悪くがたついていませんか。 →水平で安定した場所に据え付けし直してください。(→据付説明書)
洗濯が止まる エラー表示：E5	水栓が開いていますか。 →水栓を開けてください。
	水道が凍結したり断水したりしているおそれがあります。 →水道が復旧するまで使用を停止してください。
	給水口にごみがつまっているおそれがあります。 →据付専門業者またはアイリスコールへご連絡ください。

それでも解決できないとき
上記以外のエラー表示のときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

警告 ●ご自分で分解・修理・改造をしないでください。

仕様

種類	全自動電気洗濯機
定格電圧	AC100V
定格周波数	50 ／ 60Hz
定格入力	410W ／ 470W
標準洗濯容量	7kg
標準脱水容量	7kg
標準使用水量	110L
標準水量	55L
保護等級	IPX4
外形寸法	幅567mm×奥行549mm×高さ893mm
質量	32kg

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

長期使用製品について

経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を、製品本体に表示しています。

【製造年】

【設計上の標準使用期間】

■ 設計上の標準使用期間

JIS基準に基づく標準的な使用条件下で使用した場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間のことです。無料修理を行う保証期間とは異なります。

標準的な使用条件（JIS基準に基づく）

環境条件	電圧	AC100V
	周波数	50 ／ 60Hz
	温度	20℃
	湿度	65%
負荷条件	負荷	標準容量
	コース	標準コース
	給水圧	0.03 ～ 0.8MPa
	給湯・給水温度	20±15℃
想定時間	1日の平均使用回数	1.5回
	1回の使用時間	標準コースの時間
	1年間の使用日数	365日
	1年間の使用回数	1.5回×365日＝547.5回／年

注意 製品の劣化や故障は様々な要因に影響されます。上記の標準的な使用期間に満たない場合でも、異常が見られたときには、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ **保証書**

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ **保証期間**

保証期間は、保証書に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ **一般家庭用以外の目的でご使用になる場合**

理容院、美容院、病院や寮など、1日の使用時間が一般家庭と比べて長い場合は、保証期間の対象外となります。また、短時間で部品交換が必要になることがあります。
お買い上げの販売店または、アイリスコールにご相談のうえ、ご使用ください。

■ **保証期間経過後の修理**

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ **補修用性能部品の保有期間について**

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ **アフターサービスについて**

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

■ **電源コードが破損した場合**

直ちに使用を中止し、アイリスコールにご連絡ください。電源コードの交換は事故等防止のため、メーカーおよび代理店、または同等の有資格者によって行わなければならないと法律により定められています。

愛情点検

長年ご使用の洗濯機の点検を！

こんな症状はありませんか

- ●電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする
- ●本体に触れるとピリピリ電気を感じる
- ●運転中に異常な振動がある
- ●洗濯・脱水槽がなかなか止まらない
- ●電源を入れても動かないことがある
- ●本体やホースから水もれする
- ●洗濯機ががたつく

▶ **ご使用中止**

故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、水栓を閉めて、必ず販売店に点検を依頼してください。

◆MEMO◆

アイリスオーヤマ株式会社
〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ https://www.irisohyama.co.jp/

製品に関するお問い合わせ（通話料無料）

アイリスコール **0800-919-0770**

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

お客様サポート
24時間365日
Web即時回答サービス

161023-CKJ-HOR-01

IRIS OHYAMA

家庭用

全自動電気洗濯機

型番 ITW-70A01

据 付 説 明 書

据え付けされる方へ

●据え付け前に、「安全上の注意」をよくお読みになり、正しく据え付けてください。
●製品の機能が十分発揮されるように、この据付説明書にしたがって正しく取り付けてください。
●据え付け終了後、必ず「チェックシート」にしたがって確認をしてください。
●据え付け終了後、必ず試運転を行ってください。
●異常のないことを確認した後、この据付説明書はお客様にお渡しください。

お客様へ

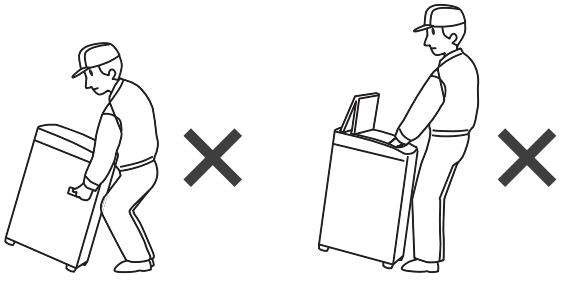
●この据付説明書は、取扱説明書とともに大切に保管してください。

もくじ

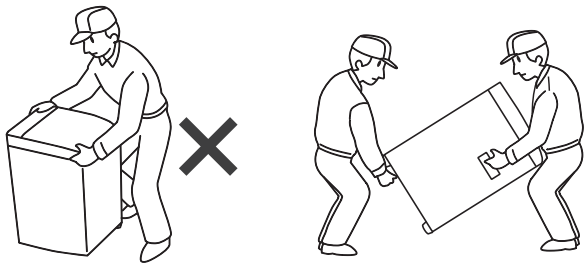
本体運搬時の注意 2
安全上の注意 3
付属品の確認 5
据え付け関連部品 5
据え付け前の確認 6
据え付け 8
①保護カバーを取り付ける 8
②排水口へ接続する 9
③給水栓へ接続する 10
④水平・がたつきの確認 12
⑤アース・電源コードを接続する 13
試運転 14
チェックシート 15

本体運搬時の注意

● 本体にひざを当てて運ばないでください。
● 衣類投入口を持って運ばないでください。
破損・変形のおそれがあります。



● 本体を引きずって移動しないでください。
床を傷付けたり、脚が破損したり、振動・異音が発生したりします。
● 必ず、２人以上で作業してください。
● 必ず、左右側面の手掛け部を持ってください。



安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味

注意を促す記号です。　禁止を示す記号です。　必ず行うことを示す記号です。

警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う

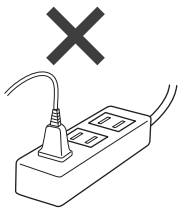
- **電源プラグのほこりは定期的に取る**
  ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- **電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む**
  ショートによる火災・感電の原因になります。
- **電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う**
  火災の原因になります。

ぬれ手禁止

- **ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない**
  感電・やけど・けがの原因になります。

- **電源コードを束ねて使用しない**
  過熱してやけど・火災の原因になります。
  電源コードは、必ずのばして使用してください。
- **洗濯機を電源プラグに押しつけない**
  据え付け時は、洗濯機で電源プラグを押しつけないように注意してください。

- **電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない**
  ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、絶対に自分で修理せず、アイリスコールへお問い合わせください。
- **電源コードを傷付けない**
- **電源コードを引っ張らない**
  傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。
  電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- **延長コードは使用しない**
  過熱してやけど・火災の原因になります。



据え付けについて

水ぬれ禁止

- **水まわり、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けない**
- **ベランダ・庭など風雨にさらされる場所に据え付けない**
  火災・感電の原因になります。

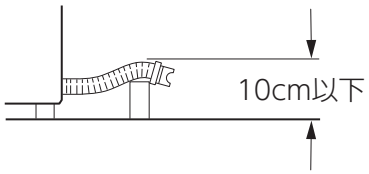
アースを必ず接続

- **アースを必ず取り付ける**
  故障したり漏電したりしたときに、感電のおそれがあります。
- **アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない**
  爆発・火災の原因になります。

安全上の注意　つづき

⚠ 注意　誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。

● 排水ホースは高さ10cm以内にする
● 据え付け後や移設後は、水栓を開いて、水もれがないか確認する
水もれがあるときは、もう一度各接続部を点検してください。



● 排水ホースをたるませない
● 排水ホースはねじらない
排水ができなかったり、逆流したりすることがあります。
また、本体内部で他の部品と接触すると、ホースが破れるおそれがあります。

● 給水ホースと本体の給水口は確実に接続する
● 洗濯前は、水栓を開けて給水ホースの接続を確認する
給水ナットなどがゆるんでいないか確認してください。ホースが外れると、水もれや事故の原因になります。

● 据え付けるとき・移設するときは、必ず新品の給水ホースを使用する
古くなった給水ホースは、水もれなどのおそれがあります。給水ホースについては、アイリスコールへご連絡ください。

● 洗濯機の下に手や足などを入れない
回転部などに触れるとけがの原因になります。

据え付けについて

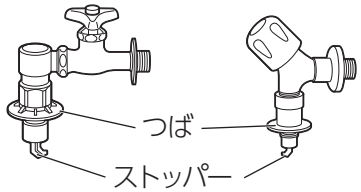
● キャスター付きの台など不安定な場所に据え付けない
● 高いところに据え付けない
脱水時の振動で、転倒・落下・移動し、けがや周囲の家財の破損の原因になります。

● カーペットなど、底面の通気をさまたげる場所に据え付けない
火災の原因になります。

● 確実に排水できる場所に据え付ける
水もれにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因になります。

給水ホースについて

● ニップル付き給水栓に接続する場合は、付属の給水ホースから継手を外して、給水栓に接続する



● ニップル付き給水栓でない場合は、洗濯機用ニップル（市販）を取り付けるか、付属の給水ホースの継手を取り付けて接続する（取り付けかた→P10）
付属の継手は、水もれがないように、確実に取り付けてください。給水ホースとサイズなどが合わない場合は取り付けないでください。

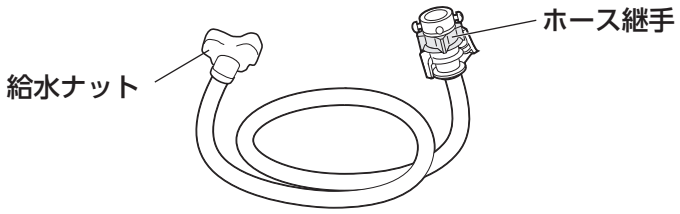
● 給湯器に接続しない
プラスチック部分が変形・破損し、感電や漏電、水もれの原因になります。

● 床近傍の水栓に接続しない
給水ホースの重みで給水ナットがゆるんで水もれの原因になります。

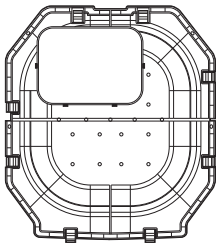
付属品の確認

最初に、付属品がそろっていることをご確認ください。
万一足りないものがある場合は、アイリスコールへご連絡ください。

給水ホース（約0.8m）



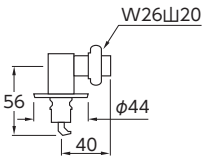
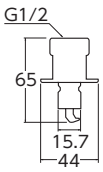
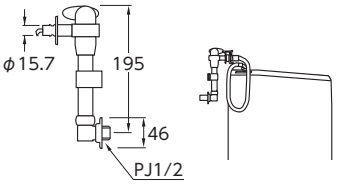
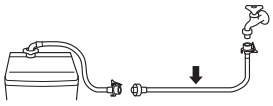
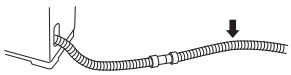
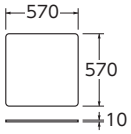
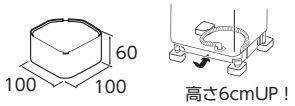
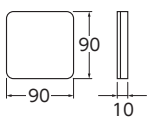
保護カバー



ねじ（4本）

据え付け関連部品

据え付けに必要な部品を用意する場合は、以下のSANEI株式会社のものを推奨します。（当社確認済み）

部品名	品番	形状	備考
洗濯機用 L型ニップル	PY124-41TVX-16		・万一ホースが外れた場合、瞬時に給水を自動停止 ・曲げ角度90˚ ・材質：青銅
洗濯機用 ニップル	PT3320		・万一ホースが外れた場合、瞬時に給水を自動停止 ・カップリング水栓用 ・材質：黄銅
ミニセラ 洗濯機用水栓	PY1735TV-13		・配管が洗濯機より低い場合に使用します。 ・オートストッパー付き
自動洗濯機 給水延長ホース	PT17-2-1		・全自動洗濯機用ホースの延長用 ・長さ：1m ・材質：塩化ビニル樹脂、ポリアセタール
洗濯機 排水ホース	PH64-861T-1.5		・洗濯機排水ホースの延長用 ・長さ：1.5m ・ホース内径：30mm
洗濯機用 トレー（全自動用）	PH545-570		・材質：ポリスチレン
洗濯機 防振かさ上げ台	PH54130S		・洗濯機の下に敷くことで、洗濯機の位置が6cmアップします。 ・洗濯機の振動を抑えます。 ・耐荷重：150kg（4個使用時） ・材質：ポリプロピレン
防振パッド	PW75		・洗濯機の下に敷いて振動を抑え、ずれを防ぎます。 ・材質：ウレタンフォーム、EVA樹脂

※ 仕様は予告なく変更する場合があります。

据え付け前の確認

据え付け場所

警告
- ●水回り、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けないでください。
- ●ベランダ・庭など風雨にさらされる場所には絶対に据え付けないでください。

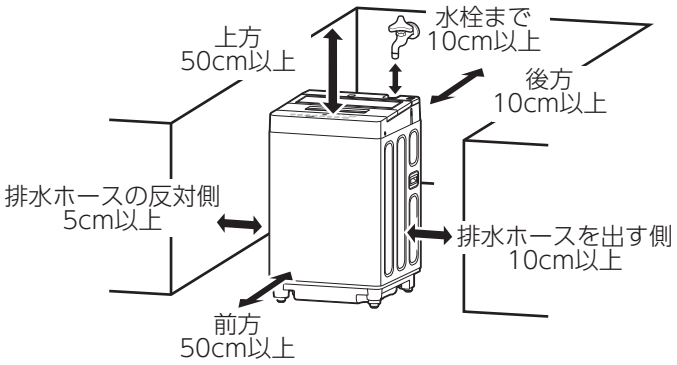
注意
- ●キャスター付きの台など、不安定な場所には据え付けないでください。
- ●高いところに据え付けないでください。
- ●確実に排水できるところに据え付けてください。

- ●安定した水平な床に据え付けてください。
- ●次のような場所には据え付けないでください。
  - ・冬季に凍結するおそれのある場所
  - ・直射日光の当たる場所
  - ・暖房など発熱器具の近く
  - ・有機溶剤を扱う場所
  - ・強度のない床
  - ・タイルなど滑りやすい床
  - ・ブロック・角材・れんがの上など、不安定な場所

■据え付けに必要な寸法を確認

図のように壁から距離を空ける

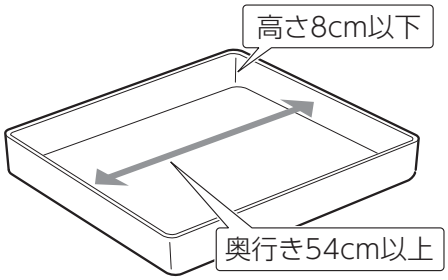
※せまい場所に設置すると、接触による騒音・振動・故障・破損の原因になります。



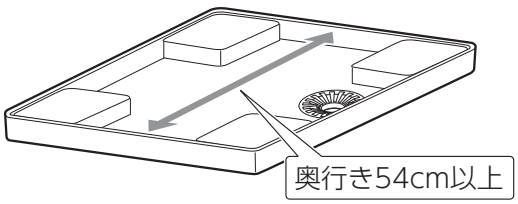
■防水パンの寸法を確認（防水パンに据え付ける場合）

防水パンの内寸は図に示す寸法が必要

・台なし防水パン



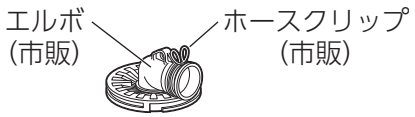
・台付き防水パン



※防水パンが設置されておらず、床が防水でないときは、洗濯機用トレーを設置してください。
室温が低いときや湿度が高いとき、冷水を使用して洗濯するときなど、洗濯機の内側が結露して、床がぬれることがあります。

排水口

■エルボ・ホースクリップの有無を確認



※エルボ・ホースクリップがない場合

➡市販品を使用する。

給水栓

■給水ホースの接続を確認

接続できる水栓

ニップル付き水栓

付属の継手は使用せず、継手を外して、付属の給水ホースを直接接続する。
(→P11)

付属の継手を使用して接続できる水栓

横水栓

給水ホースから継手を取り外し、水栓に継手を取り付けてから給水ホースを接続する
(→P10)

接続できない水栓

・市販の給水栓ジョイント (オートストッパー付) を使用してください。

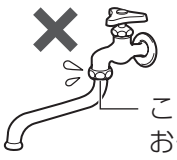
万能ホーム水栓

先端が細いため、給水継手が外れるおそれがあります。

つばなしワンタッチ水栓

つばがないため、給水ホースが外れるおそれがあります。

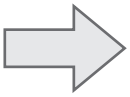
自在水栓



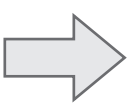
ここから水もれするおそれがあります。

カップリング横水栓

給水継手がうまく取り付かないおそれがあります。



洗濯機用Ｌ型ニップル



洗濯機用ニップル

電源・アース

■コンセントにアース端子がない場合

・電気店にアースの設置工事を依頼する。

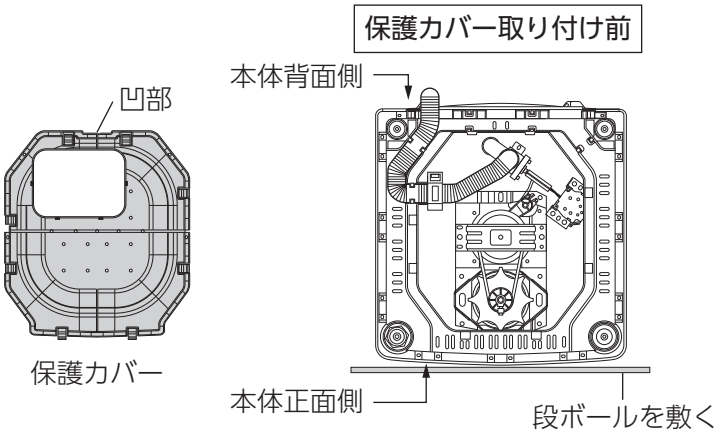
据え付け

①保護カバーを取り付ける

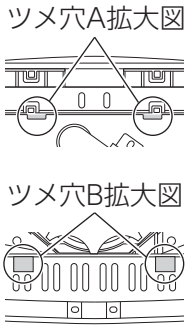
警告

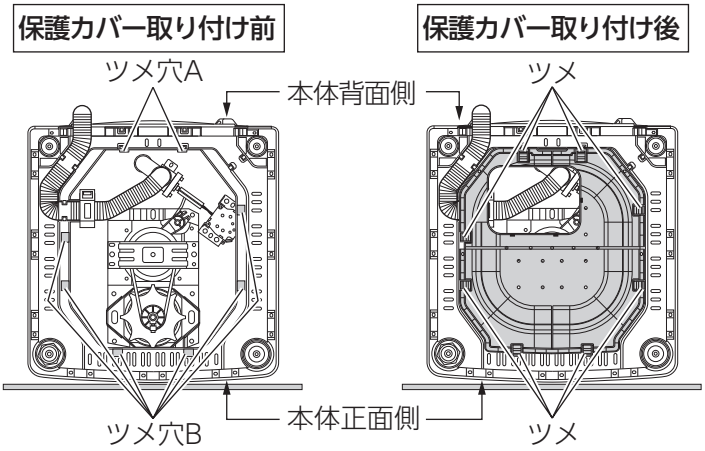
●保護カバーを必ず取り付けてください。
本体と床面の間のすき間に手や足が入りけがの原因になります。

1. 保護カバーの凹部が本体背面側になるようにする。

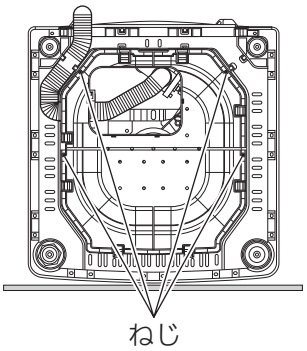


2. 本体のツメ穴に保護カバーのツメを差し込む
（8か所）





3. 付属のねじを取り付ける（4か所）



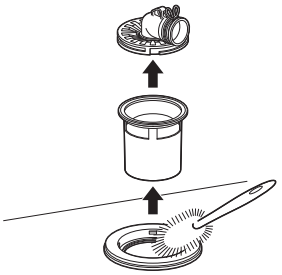
4. 保護カバーががたついていないか確認する。

②排水口へ接続する

排水口を掃除する

ⓘ お願い

・排水ホースを取り付ける前に、排水口を取り外して掃除してください。
排水口にごみがたまっていると、水もれや排水不調、においの原因になります。



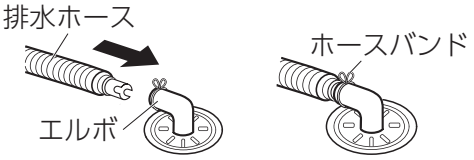
注意

●排水ホースをたるませたり、ねじったりしないでください。
●排水ホースは、本体底面とこすれないようにしてください。
●排水ホースは、高さ10cm以内にしてください。

排水口にエルボがある場合

エルボに排水ホースを差し込み、排水ホースをエルボのホースバンドでしっかり固定してください。

・ホースが本体底面などとこすれないように注意してください。ホースに穴が開くと、水もれの原因になります。
・排水ホースとエルボの差し込みがゆるい場合は、エルボを交換してください。



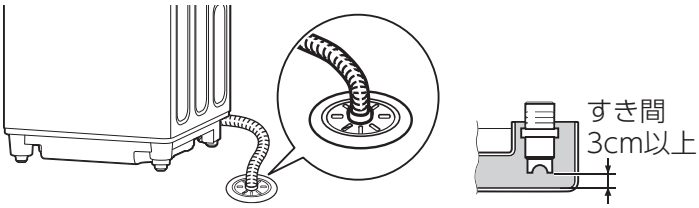
ⓘ 注 意

排水ホースの先端をつぶさないでください。水もれの原因になります。

排水口にエルボがない場合

排水ホースの先端を排水口に差し込みます。

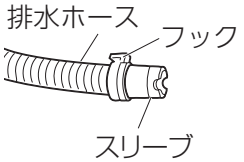
・ホースの先と排水口の底の間に3cm以上のすき間を設けてください。



ⓘ 注 意

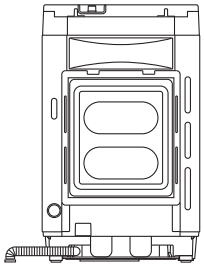
排水ホース先端のスリーブは、ホースの先端にすき間を設けるためのものです。
外さないでください。
この場合、フックは外してください。

フックの外しかた
①スリーブを外す。
②ホースの先端をつぶしてフックを抜く。
③スリーブを元通り取り付ける。

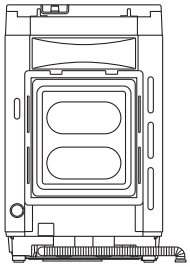


後ろから見た図

排水口が右側の場合



排水口が左側の場合



③給水栓へ接続する

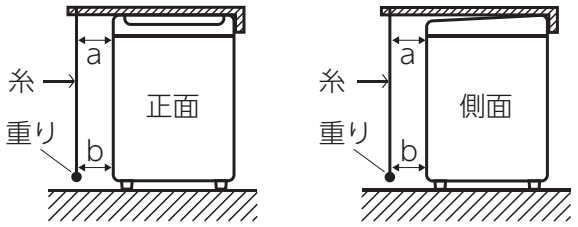
■付属の継手の取り付けかた（横水栓などを使用する場合）

給水ホースから継手を取り外して、給水栓に取り付けてください。

1. 給水ホースから継手を取り外す

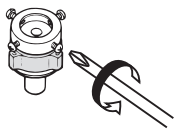
給水ホースのロックレバーを押してロックを外しながら、スライダーを押し下げ、継手を引っ張って外してください。

・正面と側面で、重りを付けた糸を下げ、上側と下側ですき間に1cm以上の差がないようにしてください。



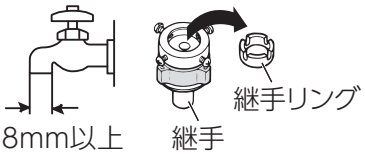
aとbの差＝1cm以内

2. 継手のねじ (4本) をゆるめる



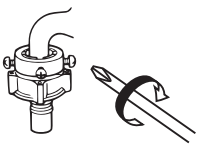
ポイント

給水栓の口の直径が18mm以上のときは、継手リングを外す。

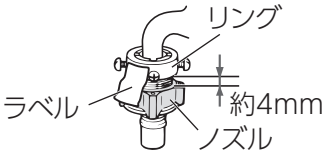


3. 給水栓に継手を差し込み、ねじで取り付ける

給水栓の口の中心と継手のパッキンの中心が合うように、ねじを均等にしっかり締めてください。



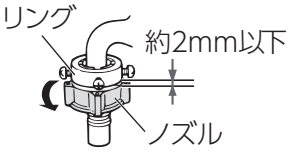
4. 継手リングとノズルの間が約4mmであることを確認して、ラベルをはがす



※ ノズルの回転防止のためラベルが貼り付けてあります。
ラベルをはがしてしまった場合は、ノズルを回転させてリングとノズルの間を調節してください。

5. ノズルを右に回して締める

ノズルとリングの間が約2mm以下になるように締めてください。



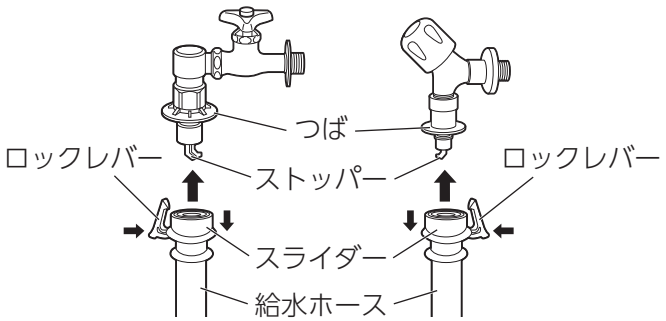
お願い

・使用中に水もれするときは、ノズルをさらに締めてください。
・付属の継手は、時間が経つとゆるんでくることがあります。水もれがないか、定期的に点検して、増し締めなどを行ってください。
・頻繁に水もれしたり、水もれの可能性があるときは、ニップル付き給水栓の使用をおすすめします。

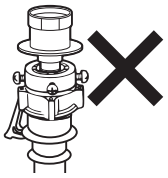
■接続のしかた

ニップル付き給水栓に接続する場合

付属の継手を取り外し、スライダーを押し下げて、パチンと音がするまで給水ホースを押し込み、ロックレバーをつばにかけてください。

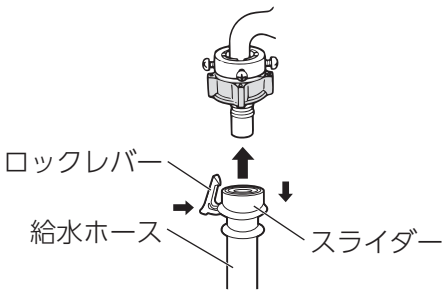


※ニップル付き給水栓に接続する場合は、必ず付属のホース継手を取り外してください。水もれの原因になります。



付属の継手を使用する場合

スライダーを押し下げて、パチンと音がするまで給水ホースを押し込み、ロックレバーをつばにかけてください。



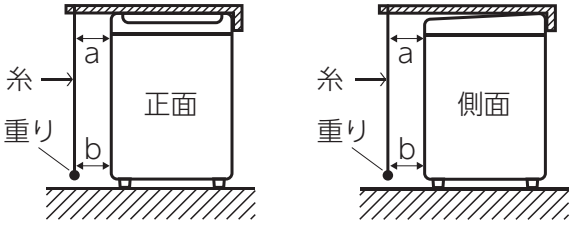
- 入らない場合は、スライダーを下げきっていないことがあります。
- 給水ホースを引っ張り、抜けないことを確認してください。
- 本体の電源は入れないで、給水栓を開け、水もれがないことを確認してください。

据え付け　つづき

④水平・がたつきの確認

1. 本体が水平になっているか確認する

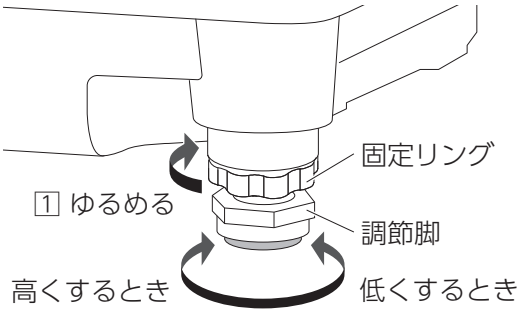
正面と側面で、重りを付けた糸を下げ、上側と下側ですき間に1cm以上の差がないようにしてください。



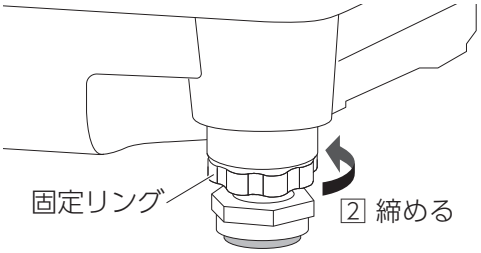
aとbの差＝1cm以内

2. 調節脚を回して、がたつきがないように調整する

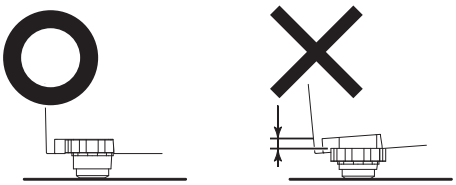
①固定リングを矢印方向1に回してゆるめ、調節脚を回してがたつきを調整する。
- 10mmまで高さ調節ができます。
- 調整脚は右前にあります。

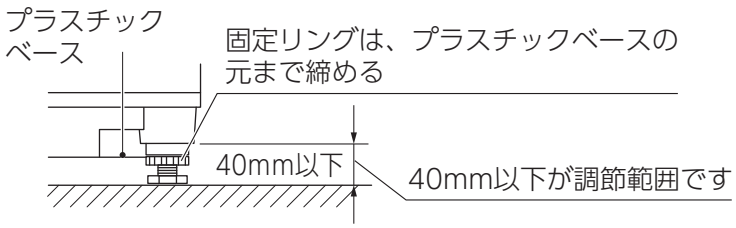


②調節が終わったら、固定リングを矢印方向2に回して固定する。

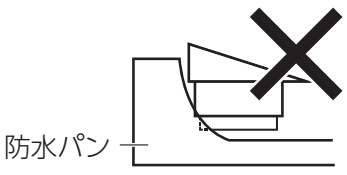


調整脚は垂直にねじこんでください。
調整脚を斜めにねじこむと、製品が傾くので、故障の原因となります。





③本体底部が、防水パンのふちやコーナー部などに乗り上げたりしていないことを確認してください。



3. 本体の対角線上の角を押して、がたつきがないことを確認する

がたつきのあるときは、再度調整してください。

⑤アース・電源コードを接続する

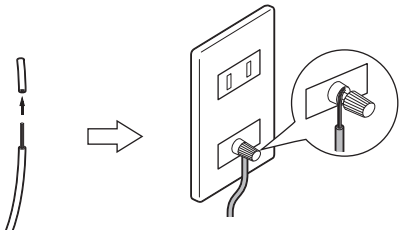
■アースを接続する

警告

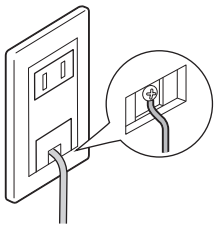
- ●アースは必ず接続してください。
- ●ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

アース端子付きコンセントがある場合

アース線先端の絶縁被覆を抜き取り、芯線部分をアース端子に差し込んで固定します。

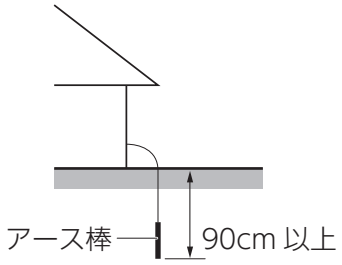


・ふた付きの場合はふたを開けてつないでください。



アース端子付きコンセントがない場合

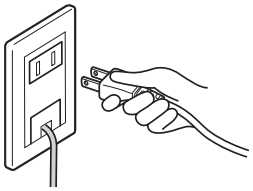
アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店に相談してください。



■電源プラグをコンセントに差し込む

警告

- ●電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- ●電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
- ●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- ●電源コードは束ねないで、必ずのばして使用してください。
- ●洗濯機を電源プラグに押し付けないようにしてください。
- ●電源コードや電源プラグが、傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
- ●電源コードを、引っ張ったりして傷つけないでください。
- ●延長コードは使用しないでください。



試運転

■試運転する

次の手順で試運転してください。

1 電源プラグを差し込み、水栓を開く

- 給水ホースや接続部から水もれがないことを確認してください。

2 ふたを閉め、**電源 切**／**入**ボタンを押して電源を入れ、最大水量を設定して、**スタート**／**一時停止**ボタンを押してスタートする

- 給水が始まります。**ふたロック**ランプが点灯して、ふたがロックされることを確認してください。
- 約5分間運転し、異常音・水もれがないこと、パルセーターが回転することを確認してください。

3 **スタート**／**一時停止**ボタンを押して、一時停止する

- ふたを開けて、ふたロックが解除していることを確認してください。

4 **電源 切**／**入**ボタンを押して電源を切り、再度押して電源を入れ直す

5 ふたを閉めて**脱水**ボタンを押し、**スタート**／**一時停止**ボタンを押してスタートする

- ふたがロックされます。
- 排水が始まります。排水口・排水ホースから水もれがないこと、にごった水が出ないことを確認してください。
- 脱水が始まったら、異常音・異常振動がないことを確認してください。
- モーターは通電による制御をするため、モーター音は一定ではありませんが、異常ではありません。

6 **スタート**／**一時停止**ボタンを押して一時停止する

- 停止したら、ふたロックが解除されることを確認してください。

7 **電源 切**／**入**ボタンを押して、電源を切る

チェックシート

・据え付け完了後、各項目を確認して、□の中に✔印を入れ、この据付説明書をお客様に渡してください。

□ AC100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使用しています。

□ コンセントのゆるみや、電源コード・電源プラグの傷みはないことを確認しました。

□ アース線の接続は確実に行いました。（感電防止のため、アースは必ず接続してください。）

□ 洗濯機の底部に保護カバーを取り付け、手や足が入るすき間がないことを確認しました。

□ 給水ホースの、水栓・本体との接続部に水もれがないことを確認しました。

□ 試運転して、にごった水が出ないことを確認しました。

□ 排水口に糸くずなどのごみがたまっていないことを確認しました。

□ 排水ホースが、本体の下にはさまったり、よじれたり、つぶれたりしていないことを確認しました。

□ 排水ホースの高さが10cm以内であることを確認しました。

□ 本体が水平になっていることを確認しました。

□ 本体の対角線上の角を押したときに、がたつきがないことを確認しました。

□ 調整脚の固定リングをしっかり締めたことを確認しました。（本体底面と固定リングの間にすき間がないこと）

□ 試運転して、異常音、水もれ、電源コード・排水ホース・給水ホースの本体への接触はなく、正常に動作することを確認しました。

確認日：　　年　　月　　日

確認者：

工事（施工）会社名：

問い合わせ先　電話番号：

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ https://www.irisohyama.co.jp/

製品に関するお問い合わせ（通話料無料）

アイリスコール **0800-919-0770**

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

お客様サポート
24時間365日
Web即時回答サービス

161023-CKJ-HOR-01